

# 1. ジャンシン(匠新)の概要

## 1.1 企業概要

### 1.1.1 基本情報

ジャンシン(匠新、Takumi Innovators)は、2015年に上海で設立された日中間のスタートアップおよびイノベーション支援を専門とするアクセラレーターです。ジャンシンは、日中両国の企業やスタートアップが協力し、新たな価値を創造するためのプラットフォームを提供しています。特に、日中間の文化や市場特性を深く理解し、両国の企業間での橋渡し役を果たすことを使命としています[1][2]。

ジャンシンは、匠技新(上海)創業孵化器管理有限公司およびジャンシン・ジャパン株式会社をグループ企業として抱え、日中間での多様なサービスを展開しています。これには、スタートアップ支援、イノベーションアドバイザリー、オープンイノベーションの推進などが含まれます[8][10]。

また、ジャンシンは中国で最も国際的なアクセラレーターである「XNode」とも連携しており、広範なネットワークを活用して日中の技術・ビジネス連携を推進しています[1][2]。

### 1.1.2 提供サービス

#### 1.1.2.1 日中間のスタートアップ支援

ジャンシンは、日本のベンチャー企業が中国市場で成功するための包括的な支援を提供しています。この支援には、資金調達、パートナー開拓、人材発掘、製造、販売、マーケティング、法務、税務、会計などが含まれます。これにより、日本企業が中国市場での事業展開をスムーズに進めることが可能となります[2][8]。

一方で、中国のスタートアップ企業が日本市場に進出する際の支援も行っています。これには、市場調査、現地パートナーの紹介、法規対応などが含まれ、両国間のスタートアップエコシステムの構築を目指しています[8][10]。

#### 1.1.2.2 日中大企業向けイノベーションアドバイザリー

ジャンシンは、日中両国の大企業向けにイノベーションアドバイザリーサービスを提供しています。このサービスには、アクセラレーションプログラム、ハッカソン、ピッチイベント、スタートアップスカウティングなどが含まれます。これにより、大企業とスタートアップ間のオープンイノベーションを促進し、迅速な市場対応と革新的なソリューションの開発を支援しています[2][8][10]。

### 1.1.2.3 XNode との連携

ジャンシンは、中国で最も国際的なアクセラレーターである「XNode」との連携を通じて、日中間のイノベーション支援を強化しています。XNode は、スタートアップや大企業、政府機関、学術機関など多様なプレイヤーと連携し、イノベーションエコシステムの構築を推進しています。この連携により、ジャンシンは日中間の技術交流やビジネス連携をさらに深化させています[1][2][8]。

## 1.2 沿革

### 1.2.1 設立と初期の活動(2015 年)

ジャンシンは 2015 年に上海で設立されました。設立当初から、日中間の企業連携を目指し、スタートアップ支援やイノベーション促進に注力してきました。創業者である田中年一氏は、デロイトトーマツでの M&A アドバイザリー業務や投資コンサルティング業務の経験を活かし、日中間のスタートアップエコシステムの構築に取り組みました[1][3][8]。

### 1.2.2 拠点拡大(2018 年)

2018 年には、深センと東京に新たな拠点を設立し、活動範囲を拡大しました。この拠点拡大により、ジャンシンは日中間のスタートアップや大企業の連携をさらに強化し、両国間のイノベーション支援を加速させました[3][8]。

### 1.2.3 最新の活動(2024 年)

2024 年には、第 7 回中国国際輸入博覧会(進博会)に参加し、環境新素材を開発する株式会社 TBM と共同で出展しました。この活動を通じて、ジャンシンは日中間の技術協力と持続可能な発展をアピールし、国際的なプレゼンスをさらに高めました[16][17]。

また、ジャンシンは AI やデジタルトランスフォーメーション (DX) 分野での取り組みを強化し、日中間の技術革新を推進する役割を果たしています[15][16]。

## 1.3 創業者について

### 1.3.1 田中年一氏の経歴

創業者である田中年一氏は、東京大学工学部航空宇宙工学科を卒業後、Hewlett Packard 社でシステムエンジニアとして 4 年間勤務しました。その後、デロイトトーマツに入社し、12 年間にわたり M&A アドバイザリー業務や投資コンサルティング業務、株式上場支援業務などに従事しました[1][3]。

2005 年から 2009 年の 4 年間はデロイトの上海オフィスに駐在し、中国企業の日本 IPO プロジェクトや日系企業の IFRS 監査、投資コンサルティング業務などに携わりました。この経験を通じて、中国市場に関する深い知識とネットワークを築きました[1][3]。

### 1.3.2 創業の背景とビジョン

田中氏は、デロイトでの経験を活かし、2013 年に独立してジャンシンを設立しました。彼のビジョンは、日中間のスタートアップや大企業の連携を通じて、新たな価値を創造することです。特に、日中間の文化や市場特性を理解し、両国の企業が協力してイノベーションを推進するためのプラットフォームを提供することを目指しています[1][3][8]。

田中氏はまた、ジャンシンを通じて、日中間の技術革新や持続可能な社会の実現に貢献することを使命としています。このビジョンは、ジャンシンの経営理念や具体的な取り組みにも反映されています[1][7][8]。

## 2. ジャンシン(匠新)の企業文化と経営理念

### 2.1 企業文化

### 2.1.1 多様性の尊重

ジャンシン(匠新)は、日中間のイノベーション支援を通じて、多様性を尊重する企業文化を築いています。同社は、異なる文化や価値観を持つ人々が協力し合うことで、新たな価値を創造できると信じています。この理念は、日中間の架け橋としての役割を果たす同社の活動に深く根付いています。社員同士が互いのバックグラウンドや視点を尊重し合い、共に成長する環境を提供することが、ジャンシンの企業文化の基盤となっています[7][8]。

また、ジャンシンは、日中両国の文化的な違いを理解し、それを活かすことで、両国の企業やスタートアップが協力しやすい環境を整えています。このような多様性の尊重は、同社が提供するサービスやプロジェクトの成功に直結しており、日中間のイノベーションエコシステムの構築において重要な役割を果たしています[7][8]。

### 2.1.2 挑戦と学び

ジャンシンの企業文化のもう一つの柱は、「挑戦と学び」です。同社は、失敗を恐れずに挑戦し続ける姿勢を奨励しています。特に、急速に変化する市場環境や技術革新の中で、社員が新しい知識やスキルを習得し、成長することを支援しています[7][8]。

この文化は、社員が自らの限界を超え、新たな可能性を追求することを促進します。例えば、ジャンシンは、社員が日中間の市場特性や文化を深く理解するためのトレーニングやワークショップを提供しています。また、社員が新しいプロジェクトや役割に挑戦する機会を積極的に提供し、個々の成長をサポートしています[7][8]。

さらに、ジャンシンは、社員が学びを共有し合う文化を育んでいます。これにより、個々の知識や経験が組織全体の成長に寄与する仕組みが構築されています。このような挑戦と学びの文化は、ジャンシンが日中間のイノベーション支援において競争力を維持するための重要な要素となっています[7][8]。

### 2.1.3 ギブファーストの精神

ジャンシンの企業文化のもう一つの重要な要素は、「ギブファーストの精神」です。同社は、社会や顧客に対して価値を提供することを最優先とし、長期的な信頼関係を築くことを目指しています。この精神は、ジャンシンの全ての活動において中心的な役割を果たしています[7][8]。

具体的には、ジャンシンは、日中間の企業やスタートアップが直面する課題を解決するために、無償で情報やリソースを提供することを厭いません。このような姿勢は、同社が信頼されるパートナーとしての地位を確立するのに寄与しています。また、社員同士が互いに助け合い、共に成長する文化を育むことで、組織全体の一体感を高めています[7][8]。

この「ギブファースト」の精神は、ジャンシンが日中間のイノベーションエコシステムの中心的存在として機能するための基盤となっています。同社は、社会的意義のあるプロジェクトに積極的に参加し、持続可能な社会の実現に向けて貢献しています[7][8]。

## 2.2 経営理念

### 2.2.1 Mission(ミッション)

ジャンシンのミッションは、「日中のあり方を再定義し、新たな価値を創造する」ことです。このミッションは、同社が日中間のイノベーション支援を通じて、両国の関係をより良いものにするための指針となっています[7]。

具体的には、ジャンシンは、日中間の企業やスタートアップが協力し、新たな価値を創出するためのプラットフォームを提供しています。このミッションは、同社が提供する全てのサービスやプロジェクトにおいて中心的な役割を果たしています。また、ジャンシンは、日中イノベーションコミュニティの醸成を通じて、両国の企業やスタートアップが協力しやすい環境を整えています[7]。

### 2.2.2 Vision(ビジョン)

ジャンシンのビジョンは、「日中イノベーションエコシステムの中心的存在となり、プロフェッショナル集団および信頼されるアドバイザーとして成長する」ことです。このビジョンは、同社が目指す未来像を明確に示しています[7]。

ジャンシンは、このビジョンを実現するために、日中間の企業やスタートアップが協力しやすい環境を整えることに注力しています。また、同社は、社員がプロフェッショナルとして成長するための支援を惜しみません。このような取り組みは、ジャンシンが日中間のイノベーション支援において信頼される存在であり続けるための基盤となっています[7]。

### 2.2.3 Value(価値観)

ジャンシンの価値観は、「差異を尊重し、価値を創造する」ことです。この価値観は、同社が日中間のイノベーション支援を通じて、新たな価値を創出するための指針となっています[7]。

具体的には、ジャンシンは、日中間の文化的な違いを理解し、それを活かすことで、両国の企業やスタートアップが協力しやすい環境を整えています。また、社員が互いに学び合い、共に成長する文化を育むことで、組織全体の一体感を高めています。このような価値観は、ジャンシンが日中間のイノベーション支援において競争力を維持するための重要な要素となっています[7]。

## 2.3 具体的な取り組み

### 2.3.1 日中イノベーションコミュニティの設立

ジャンシンは、2021年に「日中イノベーションコミュニティ」を設立しました。このコミュニティは、日中間の企業やスタートアップが協力し、新たな価値を創出する場を提供することを目的としています[7][12]。

このコミュニティでは、定期的にイベントやワークショップが開催され、参加者が互いに学び合い、協力する機会が提供されています。また、ジャンシンは、このコミュニティを通じて、日中間の企業やスタートアップが直面する課題を解決するための情報やリソースを提供しています。このような取り組みは、ジャンシンが日中間のイノベーションエコシステムの中心的存在として機能するための基盤となっています[7][12]。

### 2.3.2 理念共有のための社員活動

ジャンシンは、社員全員が経営理念を共有し、それを日々の行動指針として活用できるよう、様々な取り組みを行っています。例えば、2020年には全社員で合宿を行い、将来の方向性や日々の行動において大切にすべき「価値観」について議論しました。この合宿を通じて、ジャンシンの「ミッション」「ビジョン」「価値観」(MVV)が明確化されました[7]。

また、ジャンシンは、社員が経営理念を実践するためのトレーニングやワークショップを提供しています。これにより、社員が経営理念を深く理解し、それを日々の業務に反映させることが可能となっています。このような取り組みは、ジャンシンが日中間の

イノベーション支援において信頼される存在であり続けるための基盤となっています[7]。

## 3. ジャンシン(匠新)の製品・サービス分析

### 3.1 主要サービス

#### 3.1.1 日中オープンイノベーション支援

ジャンシン(匠新)は、日中間のオープンイノベーションを推進するための支援を提供しています。このサービスは、日系大企業と中国のスタートアップを結びつけ、両者の強みを活かした相互補完的な協力を実現することを目的としています。具体的には、以下のような取り組みが行われています：

- **アクセラレーションプログラム:** 日中間の企業が協力して新たな価値を創造するためのプログラムを提供。これにより、企業間の連携を促進し、迅速な市場対応を可能にしています[8][10]。
- **ハッカソンやピッチイベント:** 現地のスタートアップを招き、技術やアイデアを競い合う場を提供。これにより、革新的なソリューションの発掘を支援しています[10][11]。
- **ラーニングエクスペディション:** 日中両国の企業が互いの市場や文化を深く理解するための学習プログラムを実施。これにより、企業間の信頼関係を構築し、長期的な協力を促進しています[8][10]。

このような取り組みを通じて、ジャンシンは日中間のオープンイノベーションを加速させ、両国の企業が新たな市場機会を捉えるための橋渡し役を果たしています。

#### 3.1.2 スタートアップ支援

ジャンシンは、日中間のスタートアップ企業に対して包括的な支援を提供しています。この支援は、以下のような多岐にわたる分野をカバーしています：

- **日本企業向け中国市場進出支援:** 資金調達、パートナー開拓、人材発掘、製造、販売、マーケティング、法務、税務、会計など、スタートアップが中国市場で成功するためのワンストップサービスを提供しています[2][8][10]。
- **中国企業向け日本市場進出支援:** 市場調査、現地パートナーの紹介、法規対応など、日本市場での事業展開を支援しています[8][10]。

これらのサービスは、スタートアップが直面する課題を解決し、迅速かつ効率的に新市場に進出するための重要なサポートとなっています。

### 3.1.3 イノベーションエコシステムの構築

ジャンシンは、日中間のイノベーションエコシステムのハブとして機能しています。このエコシステムは、以下のような多様なプレイヤーを結びつけることで構築されています:

- **事業会社とベンチャー企業:** 両者のリソースを有機的に組み合わせ、相互補完的な関係を構築しています[8][10]。
- **政府機関や投資機構:** 政策支援や資金調達の機会を提供することで、イノベーションの促進を支援しています[8][10]。
- **学術機関やメディア:** 知識共有や情報発信を通じて、エコシステム全体の活性化を図っています[8][10]。

このような取り組みにより、ジャンシンは日中間のイノベーションエコシステムを拡充し、持続可能な成長を実現するための基盤を提供しています。

### 3.1.4 情報提供サービス

ジャンシンは、日中間のスタートアップやイノベーション動向に関する最新情報を提供するサービスも展開しています。具体的には、以下のような情報提供が行われています:

- **メルマガ「中国イノベーション通信」:** 中国のスタートアップやイノベーションに関する最新ニュース、注目企業、業界トレンドを配信しています[9][10]。
- **市場調査レポート:** 日中間の市場動向や技術トレンドに関する詳細なレポートを提供し、企業の意思決定を支援しています[9][10]。

これらの情報提供サービスは、企業が市場の変化に迅速に対応し、競争力を維持するための重要なリソースとなっています。



## 3.2 特徴的な取り組み

### 3.2.1 アクセラレーションプログラム

ジャンシンのアクセラレーションプログラムは、日中間のスタートアップと大企業を結びつけるための重要な取り組みです。このプログラムでは、以下のような活動が行われています：

- **技術スカウティング**: 大企業が必要とする技術やソリューションを持つスタートアップを特定し、両者を結びつける[8][10]。
- **プロトタイプ開発支援**: スタートアップが大企業と協力してプロトタイプを開発し、市場投入までのプロセスを加速させる[8][10]。

これにより、ジャンシンは日中間の技術革新を促進し、企業が新たな市場機会を捉えるための支援を行っています。

### 3.2.2 ハッカソン・ピッチイベント

ジャンシンは、ハッカソンやピッチイベントを通じて、革新的なアイデアや技術を発掘する場を提供しています。これらのイベントでは、以下のような活動が行われています：

- **技術競争**: スタートアップが自社の技術やアイデアを競い合い、最も優れたソリューションを選出する[10][11]。
- **ネットワーキング**: 参加者が他の企業や投資家とつながり、新たなビジネスチャンスを創出する[10][11]。

これらのイベントは、スタートアップが自社の技術をアピールし、資金調達やパートナーシップの機会を得るための重要なプラットフォームとなっています。

### 3.2.3 日中イノベーションコミュニティ

ジャンシンは、2021年に「日中イノベーションコミュニティ」を設立し、日中間の企業やスタートアップが協力して新たな価値を創出する場を提供しています。このコミュニティでは、以下のような活動が行われています：

- **情報共有**: 日中間の市場動向や技術トレンドに関する情報を共有し、企業間の連携を促進する[12][13]。

- **共同プロジェクト:** 参加企業が共同でプロジェクトを立ち上げ、新たなソリューションを開発する[12][13]。

このコミュニティは、日中間のイノベーションを加速させるための重要なプラットフォームとして機能しています。

## 3.3 サービスの強み

### 3.3.1 日中間の専門性

ジャンシンは、日中両国の市場特性や文化を深く理解しており、これが同社の大きな強みとなっています。具体的には、以下のような専門性を活かしています：

- **市場知識:** 両国の市場動向や規制に関する深い知識を持ち、企業が新市場に迅速に適応できるよう支援[8][10]。
- **文化理解:** 日中間の文化的な違いを理解し、企業間のコミュニケーションを円滑にする[8][10]。

### 3.3.2 広範なネットワーク

ジャンシンは、日中間の広範なネットワークを活用して、企業間の連携を促進しています。このネットワークには、以下のようなプレイヤーが含まれます：

- **政府機関や投資機構:** 政策支援や資金調達の機会を提供[8][10]。
- **学術機関やメディア:** 知識共有や情報発信を通じて、エコシステム全体の活性化を図る[8][10]。

### 3.3.3 迅速な市場対応

ジャンシンは、オープンイノベーションを通じて、変化の激しい市場環境に迅速に対応する能力を持っています。これにより、企業が競争力を維持し、新たな市場機会を捉えることが可能となります[8][10]。

以上のように、ジャンシンは日中間のイノベーションを推進するための多様なサービスを提供し、企業が新たな市場機会を捉えるための重要なパートナーとして機能しています。

## 4. ジャンシン(匠新)の財務分析

### 4.1 財務情報の公開状況

#### 4.1.1 非公開の理由

ジャンシン(匠新)は非上場企業であり、その財務情報は公式ウェブサイトや公開資料からは確認できない状況にあります。この非公開の理由として、以下の要因が考えられます：

1. 非上場企業であること

ジャンシンは非上場企業であるため、法的に財務情報を公開する義務がありません。多くの非上場企業は、競争上の理由や事業戦略の保護を目的として、財務情報の公開を控える傾向があります[13][14]。

2. 事業戦略上の配慮

ジャンシンは、日中間のスタートアップ支援やイノベーション促進を専門とするアクセラレーターとして、競争の激しい市場で活動しています。財務情報を公開することで、競合他社に事業戦略や収益構造が露呈するリスクを避けるため、情報公開を制限している可能性があります[13][14]。

3. 規模の制約

ジャンシンは比較的小規模な企業であり、財務情報の公開に必要なリソースや体制が整っていない可能性があります。このような企業では、財務情報の公開が優先事項とされない場合が多いです[13][14]。

#### 4.1.2 公開情報の不足

ジャンシンの財務情報に関する公開情報は非常に限られており、具体的な収益やコスト構造についての詳細は不明です。以下の点が公開情報の不足として挙げられます：

1. 公式ウェブサイトでの情報不足

ジャンシンの公式ウェブサイトでは、事業内容やサービスに関する情報は充実しているものの、財務情報に関する記載はほとんどありません[13][14]。

2. 第三者データベースでの情報不足

日本法人(ジャンシン・ジャパン株式会社)や中国法人(匠技新(上海)創業孵化器管理有限公司)の情報を第三者データベースで検索しても、財務データ

に関する詳細な情報は得られません。これは、非上場企業であることに加え、情報公開の範囲が限定されているためと考えられます[13][14]。

### 3. 透明性の課題

財務情報の非公開は、投資家やパートナー企業に対する透明性の欠如として捉えられる可能性があります。この点は、信頼性の向上や新規パートナーの獲得において課題となる可能性があります[13][14]。

## 4.2 収益構造の推測

ジャンシンの収益構造は、主に以下の3つの事業活動に基づいていると推測されます。

### 4.2.1 スタートアップ支援サービス

ジャンシンは、日中間のスタートアップ支援を中心に事業を展開しており、以下のようなサービスを提供しています：

#### 1. 日本企業向けの中国市場進出支援

- 資金調達、パートナー開拓、人材発掘、製造、販売、マーケティング、法務、税務、会計など、幅広い支援をワンストップで提供しています[13][14]。
- これらのサービスに対するコンサルティングフィーや成功報酬が収益源となっている可能性があります[13][14]。

#### 2. 中国企業向けの日本市場進出支援

- 市場調査、現地パートナーの紹介、法規対応など、日本市場での事業展開を支援しています[13][14]。
- これにより、双方向の市場進出をサポートすることで収益を得ていると考えられます[13][14]。

### 4.2.2 オープンイノベーション支援

ジャンシンは、日系大企業および中国のスタートアップを対象に、オープンイノベーションを推進するためのサービスを提供しています：

#### 1. アクセラレーションプログラム

- 大企業とスタートアップを結びつけるプログラムを実施し、両者の技術やビジネスモデルの融合を促進しています[13][14]。

- これに伴う契約料やスポンサーシップ収入が収益源となっている可能性があります[13][14]。

## 2. ハッカソン・ピッチイベント

- 現地スタートアップを招き、技術やアイデアを競い合う場を提供しています[13][14]。
- これにより、革新的なソリューションの発掘を支援し、イベント参加費やスポンサー収入を得ていると考えられます[13][14]。

### 4.2.3 コミュニティ運営

ジャンシンは、日中イノベーションコミュニティの運営を通じて、以下のような収益を得ていると推測されます：

#### 1. ネットワーキングイベントの開催

- 日中間の企業やスタートアップが協力し、新たな価値を創出する場を提供しています[13][14]。
- イベント参加費や会員費が収益に寄与している可能性があります[13][14]。

#### 2. 情報提供サービス

- 中国のスタートアップやイノベーション動向に関する最新情報を提供するメルマガ「中国イノベーション通信」を運営しています[13][14]。
- これにより、情報提供サービスの収益を得ていると考えられます[13][14]。

## 4.3 財務情報の取得方法

ジャンシンの財務情報をより詳細に把握するためには、以下の方法が有効です。

### 4.3.1 公式ウェブサイトの確認

ジャンシンの公式ウェブサイトでは、事業内容やサービスに関する情報が掲載されていますが、財務情報に関する記載はほとんどありません。しかし、投資家向け情報やプレスリリースに財務関連の情報が掲載される可能性があるため、定期的な確認が推奨されます[13][14]。

### 4.3.2 企業情報データベースの活用

日本法人(ジャンシン・ジャパン株式会社)および中国法人(匠技新(上海)創業孵化器管理有限公司)の情報を以下のデータベースで検索することが有効です:

#### 1. 日本のデータベース

- 東京商工リサーチや帝国データバンクを活用することで、ジャンシン・ジャパン株式会社の財務情報を取得できる可能性があります[13][14]。

#### 2. 中国のデータベース

- 中国の企業情報データベース(企查查、天眼查など)を活用することで、匠技新(上海)創業孵化器管理有限公司の財務情報を確認することができます[13][14]。

### 4.3.3 直接問い合わせ

ジャンシンに直接連絡し、財務情報の入手方法を確認することも選択肢の一つです。特に、投資家やパートナー企業としての関係を築く場合、直接問い合わせを通じて詳細な情報を得ることが可能です[13][14]。

## 5. ジャンシン(匠新)の技術革新と競争優位性

### 5.1 技術革新の取り組み

#### 5.1.1 多分野にわたるイノベーション加速

ジャンシン(匠新)は、日中間のイノベーション支援を通じて、多様な分野での技術革新を加速させる取り組みを行っています。同社は、大健康(ヘルスケア)、大消費(消費財)、大情報(情報技術)、新材料、新工業、新エネルギーといった高成長分野に注力し、これらの分野での技術革新を支援しています[15][16]。

例えば、2024年の世界人工知能大会(WAIC)では、ジャンシンは日本企業の代表団を組織し、AI技術を活用した新たなソリューションの可能性を探求しました。この大会では、AIを中心とした技術革新が多くの分野での応用可能性を示し、ジャンシンはその橋渡し役として重要な役割を果たしました[15]。

また、ジャンシンは、環境保護や持続可能性に関連する新材料やエネルギー技術の開発を支援しています。特に、株式会社 TBM が開発した環境に優しい新素材「LIMEX」を通じて、自然資源の保護や環境負荷の軽減を目指す取り組みを推進しています。このような活動は、日中間の技術革新を加速させるだけでなく、持続可能な社会の実現にも寄与しています[16][17]。

### 5.1.2 国際的な技術交流の促進

ジャンシンは、国際的な技術交流を促進するための活動を積極的に展開しています。2024年の第7回中国国際輸入博覧会では、ジャンシンは日本のユニコーン企業である株式会社 TBM と協力し、環境に優しい新材料の普及を目指しました。この博覧会では、日中間の技術協力の最新成果が発表され、持続可能な発展に向けた取り組みが強調されました[16][17]。

さらに、ジャンシンは、日中間の技術交流を深めるために、現地スタートアップを招いたハッカソンやピッチイベントを開催しています。これらのイベントは、技術革新を促進するだけでなく、企業間のネットワーキングを強化し、新たなビジネスチャンスを生み出す場として機能しています[11][15]。

また、ジャンシンは、上海浦東新区の「グローバル引オパートナー」に選出され、国際的な人材や技術を活用したイノベーション推進に貢献しています。このプログラムを通じて、ジャンシンは日中間だけでなく、グローバルな技術交流のハブとしての役割を果たしています[24][29]。

### 5.1.3 デジタルトランスフォーメーション(DX)とAIの活用

ジャンシンは、中国の急速なデジタルトランスフォーメーション(DX)や人工知能(AI)技術の発展を活用し、日中間の企業が直面する課題に対応するソリューションを提供しています。特に、AI技術を活用したマーケティングや事業運営の効率化を支援することで、企業が市場の変化に迅速に対応できるようにしています[15][16]。

例えば、ジャンシンは、AIを活用したデータ分析を通じて、企業が市場動向を的確に把握し、競争力を向上させるための支援を行っています。また、AI技術を活用した新たなビジネスモデルの構築を支援することで、企業が持続可能な成長を実現できるようにしています[15][16]。

さらに、ジャンシンは、AI技術を活用したソリューションの開発を支援するだけでなく、これらの技術を日中間で共有し、両国の企業が相互に利益を享受できるような仕組

みを構築しています。このような取り組みは、日中間の技術革新を加速させるだけでなく、グローバルな技術交流の促進にも寄与しています[15][16][17]。

## 5.2 競争優位性

### 5.2.1 日中間の専門性とネットワーク

ジャンシンの競争優位性の一つは、日中間の専門性と広範なネットワークにあります。同社は、日中両国の市場特性や文化を深く理解し、両国の企業間での橋渡し役を果たしています。この専門性により、企業が新市場に迅速に適応できるよう支援しています[15][16]。

また、ジャンシンは、現地のパートナーや政府機関、投資機関、大企業、スタートアップとの広範なネットワークを活用し、協力関係を構築しています。このネットワークは、日中間の技術革新を加速させるだけでなく、企業間の信頼関係を強化するための重要な基盤となっています[16][17][24]。

### 5.2.2 持続可能な技術への注力

ジャンシンは、持続可能な技術への注力を通じて、競争優位性を確立しています。特に、環境に配慮した新材料やエネルギー技術の開発を支援することで、持続可能な社会の実現に貢献しています[16][17]。

例えば、ジャンシンは、株式会社 TBM が開発した新素材「LIMEX」を通じて、自然資源の保護や環境負荷の軽減を目指す取り組みを推進しています。このような活動は、企業が持続可能な成長を実現するための重要な要素となっています[16][17]。

### 5.2.3 オープンイノベーションの推進

ジャンシンは、オープンイノベーションの推進を通じて、競争優位性を強化しています。同社は、アクセラレーションプログラムやハッカソン、ピッチイベントを通じて、大企業とスタートアップの連携を促進しています[15][16]。

これにより、企業は迅速な市場対応と革新的なソリューションの開発を可能にしています。また、オープンイノベーションを通じて、企業間の相互補完関係を活用し、Win-Win の関係を構築しています[15][16][19]。



## 5.2.4 双方向の需要と供給のマッチング

ジャンシンは、日中間の双方向の需要と供給のマッチングを通じて、競争優位性を確立しています。例えば、日本が優位性を持つ新材料や介護サービス分野と、中国が優位性を持つ電気自動車技術や AI 分野の双方で、需要と供給をマッチングさせることで、両国の企業にとって相互利益を生み出しています[16][17]。

このような取り組みは、日中間の技術革新を加速させるだけでなく、両国の企業が新たな市場機会を捉えるための重要な手段となっています。また、ジャンシンは、これらの取り組みを通じて、日中間の経済連携を深化させ、持続可能な成長を実現するための基盤を構築しています[16][17][24]。

# 6. ジャンシン(匠新)の SWOT 分析

## 6.1 強み(Strengths)

### 6.1.1 日中間の専門性とネットワーク

ジャンシン(匠新)は、日中間のスタートアップおよびイノベーション支援を専門とするアクセラレーターとして、両国の市場特性や文化を深く理解しています。この専門性により、日中間の企業連携を円滑に進めるための橋渡し役を果たしています。特に、日中イノベーションエコシステムの構築において、政府機関、投資機関、学術機関、メディアなど多様なプレイヤーと連携し、広範なネットワークを活用しています[1][2][3]。

また、ジャンシンは中国で最も国際的なアクセラレーター「XNode」とも連携しており、これにより日中間の技術・ビジネス連携をさらに強化しています。このネットワークは、スタートアップや大企業が新市場に迅速に適應するための重要なリソースとなっています[4][5]。

### 6.1.2 幅広いサービス提供

ジャンシンは、資金調達、パートナー開拓、人材発掘、製造、販売、マーケティング、法務、税務、会計など、スタートアップや大企業向けにワンストップで支援を提供しています。この包括的なサービスは、他の競合と差別化される大きな強みです[6][7]。

さらに、日中間のオープンイノベーション支援においては、アクセラレーションプログラム、ハッカソン、ピッチイベントなどを通じて、大企業とスタートアップの連携を促進しています。これにより、企業間の相互補完関係を活用し、迅速な市場対応を可能にしています[8][9]。

### 6.1.3 オープンイノベーションの推進

ジャンシンは、オープンイノベーションを推進するためのプラットフォームとして機能しています。特に、アクセラレーションプログラムやハッカソン、ピッチイベントを通じて、大企業とスタートアップの連携を促進し、革新的なソリューションの開発を支援しています[10][11]。

また、日中イノベーションコミュニティの運営を通じて、企業間の協力を深めるためのネットワーキングの場を提供しています。この取り組みは、日中間の技術革新を加速させる重要な要素となっています[12][13]。

### 6.1.4 持続可能な技術への注力

ジャンシンは、環境に配慮した新材料やエネルギー技術の開発を支援し、持続可能な社会の実現に貢献しています。特に、LIMEXのような革新的な素材を通じて、自然資源の保護や環境負荷の軽減を目指しています[14][15]。

また、持続可能な技術への注力は、日中間の協力を深化させるだけでなく、国際的な市場での競争力を高める要因ともなっています。このような取り組みは、ジャンシンの競争優位性をさらに強化しています[16][17]。

## 6.2 弱み(Weaknesses)

### 6.2.1 財務情報の非公開

ジャンシンは非上場企業であるため、財務情報が公開されておらず、透明性に欠ける点が課題です。この点は、投資家やパートナー企業に対する信頼性の向上が求められる要因となっています[18][19]。

財務情報の非公開は、特に新規パートナーの獲得や資金調達において障害となる可能性があります。このため、財務情報の透明性を高めるための取り組みが必要です[20][21]。

## 6.2.2 競争の激化

日中間のイノベーション支援市場は競争が激しく、他のアクセラレーターやコンサルティング企業との差別化が求められています。特に、中国市場では現地企業が優位性を持つ場合が多く、競争環境が厳しい状況です[22][23]。

また、競争の激化により、ジャンシンが提供するサービスの価値を明確に示すことが重要となっています。このため、独自の強みをさらに強化し、競争力を維持するための戦略が必要です[24][25]。

## 6.2.3 規模の制約

ジャンシンは比較的小規模な企業であり、大規模なプロジェクトや急速な市場拡大に対応するためのリソースが限られている可能性があります。このため、事業拡大に伴う人材や資金の確保が課題となっています[26][27]。

規模の制約は、特に新市場への進出や新たなサービスの開発において障害となる可能性があります。このため、リソースの拡充が必要です[28][29]。

## 6.3 機会 (Opportunities)

### 6.3.1 日中間の経済連携の深化

日中両国の経済的な相互依存が高まる中、イノベーション支援の需要が増加しています。特に、AI、環境技術、ヘルスケアなどの分野での協力が期待されています[30][31]。

ジャンシンは、このような経済連携の深化を活用し、日中間の企業連携をさらに強化することができます。この取り組みは、新たな市場機会を創出する重要な要素となります[32][33]。

### 6.3.2 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

中国の急速なデジタル化や AI 技術の発展を活用し、日本企業が直面する課題(労働力不足、効率化など)に対応するソリューションを提供する機会があります[34][35]。

ジャンシンは、DX 分野での取り組みを強化することで、企業の競争力向上を支援し、新たな市場機会を創出することができます[36][37]。

### 6.3.3 持続可能な技術の需要増加

環境問題への関心が高まる中、持続可能な技術や製品への需要が増加しており、ジャンシンの支援分野と一致しています[38][39]。

この需要増加を活用し、ジャンシンは持続可能な技術分野での取り組みをさらに強化することができます。この取り組みは、国際的な市場での競争力を高める要因となります[40][41]。

### 6.3.4 スタートアップエコシステムの成長

中国および日本のスタートアップエコシステムが成長しており、これらの企業を支援することで新たな市場機会を創出できます[42][43]。

ジャンシンは、スタートアップエコシステムの成長を活用し、日中間のイノベーションをさらに加速させることができます。この取り組みは、ジャンシンの競争優位性をさらに強化する要因となります[44][45]。

## 6.4 脅威(Threats)

### 6.4.1 地政学的リスク

日中間の政治的緊張や規制の変化が、事業活動に影響を与える可能性があります。特に、技術移転やデータ保護に関する規制強化が、日中間の協力プロジェクトにおける障害となるリスクがあります[46][47]。

ジャンシンは、地政学的リスクに対応するため、法令遵守やリスク管理を強化する必要があります。この取り組みは、事業の安定性を確保するために重要です[48][49]。

### 6.4.2 競合の増加

他のアクセラレーターやコンサルティング企業が同様のサービスを提供しており、競争が激化しています。特に、中国市場では現地企業が優位性を持つ場合があります[50][51]。

ジャンシンは、競争の激化に対応するため、独自の強みをさらに強化し、競争力を維持する必要があります。この取り組みは、事業の成功にとって重要です[52][53]。

### 6.4.3 市場変化のスピード

技術革新や市場動向の変化が非常に速く、これに迅速に対応できない場合、競争力を失うリスクがあります[54][55]。

ジャンシンは、市場変化のスピードに対応するため、継続的な技術力の向上と市場調査を強化する必要があります。この取り組みは、事業の持続可能性を確保するために重要です[56][57]。

## 7. ジャンシン(匠新)のグローバル戦略と展開

### 7.1 グローバル戦略の柱

#### 7.1.1 日中間の相互補完的な協力

ジャンシン(匠新)は、日中間の相互補完的な協力を基盤に、両国の強みを活かしたイノベーションを推進しています。日本は新材料や高齢化社会に対応する介護サービスなどの分野で優位性を持ち、中国は電気自動車(EV)や人工知能(AI)技術などで強みを発揮しています。このような相互補完的な関係を活用し、両国の企業が協力して新たな価値を創造することを目指しています[8][16][17]。

例えば、日本の新材料分野では、環境に優しい素材の開発が進んでおり、中国の巨大市場での応用が期待されています。一方、中国のEV技術は、日本市場での労働力不足や効率化の課題に対応するソリューションとして注目されています[16][17]。このように、ジャンシンは両国の需要と供給をマッチングさせることで、相互利益を生み出す取り組みを行っています。

また、ジャンシンは、日中間の技術移転や市場進出を支援するためのプラットフォームを提供しています。これにより、両国の企業が迅速に市場に適応し、競争力を高めることが可能となります[16][17]。

## 7.1.2 イノベーションエコシステムの構築

ジャンシンは、日中間のイノベーションエコシステムの構築を重要な戦略の柱としています。このエコシステムは、政府機関、投資機関、大企業、スタートアップ、学術機関、メディアなど、多様なプレイヤーを結びつけるプラットフォームとして機能しています[8][10][19]。

具体的には、ジャンシンはアクセラレーションプログラムやハッカソン、ピッチイベントを通じて、大企業とスタートアップの連携を促進しています。これにより、両者が持つリソースを最大限に活用し、迅速な市場対応と革新的なソリューションの開発を可能にしています[8][10]。

さらに、ジャンシンは「日中イノベーションコミュニティ」を運営し、情報共有やネットワーキングの場を提供しています。このコミュニティは、日中間の企業が協力して新たな価値を創出するための重要なプラットフォームとなっています[12][19]。

## 7.1.3 地域特化型の展開

ジャンシンは、地域特化型の展開を通じて、日中間のイノベーションをさらに深化させています。中国国内では、山西省や上海などの地域での活動を通じて、地方都市の産業発展を支援しています。一方、日本国内では、地方の中小企業やスタートアップを対象に、グローバル市場への進出を支援する取り組みを強化しています[22][34]。

例えば、山西省では、新エネルギーや新材料分野での協力が進められており、地方政府や企業との連携を通じて、地域経済の活性化が図られています[22]。また、日本国内では、地方の中小企業が持つ技術や製品を中国市場に展開するための支援が行われています[34]。

このような地域特化型の戦略により、ジャンシンは日中両国の地方経済の活性化に貢献しています。

## 7.2 主な取り組みと成果

### 7.2.1 日中イノベーションコミュニティの運営

ジャンシンは、2021年から「日中イノベーションコミュニティ」を運営しており、日中間の情報交換やネットワーキングを促進するための場を提供しています。このコミュニテ

いは、企業間の協力を深めるためのプラットフォームとして機能しており、現在では上海や北京を中心に活動を展開しています[12][19]。

このコミュニティでは、定期的にセミナーやワークショップが開催されており、参加者は最新の技術動向や市場情報を共有することができます。また、スタートアップと大企業が直接対話する機会を提供することで、新たなビジネスチャンスの創出を支援しています[12][19]。

## 7.2.2 環境保護と持続可能性への注力

ジャンシンは、環境保護と持続可能性を重視した取り組みを進めています。特に、新材料や新エネルギー分野でのプロジェクトを通じて、環境負荷の軽減や資源の効率的利用を目指しています[16][17]。

例えば、ジャンシンは第7回中国国際輸入博覧会において、日本のユニコーン企業である株式会社TBMと協力し、環境に優しい新材料「LIMEX」を紹介しました。この素材は、石灰石を主成分とし、石油樹脂の代替や水資源の節約に寄与する革新的な素材です[16][17]。

このような取り組みを通じて、ジャンシンは持続可能な社会の実現に向けた貢献を続けています。

## 7.2.3 グローバル人材の活用

ジャンシンは、グローバル人材の活用を通じて、日中間のイノベーションを加速させています。特に、上海浦東新区の「グローバル引才パートナー」に選出されたことを契機に、国際的な人材や技術を活用した取り組みを強化しています[24][29]。

このプログラムでは、世界中から高い専門性を持つ人材を招き、日中間の技術交流やビジネス連携を促進しています。また、これにより、ジャンシンは国際的なプレゼンスを高めるとともに、地域経済の発展にも寄与しています[24][29]。

## 7.3 今後の展望

### 7.3.1 新たな分野への進出

ジャンシンは、環境保護、健康・介護、デジタル経済、スマート農業などの新たな分野への進出を計画しています。これらの分野は、日中間での協力が期待される高成長分野であり、ジャンシンの専門性を活かした取り組みが進められています[22][34]。

特に、デジタル経済分野では、AI やデータ分析技術を活用した新たなビジネスモデルの構築が進められており、これにより、企業の競争力向上が期待されています[35][36]。

### 7.3.2 地域間連携の強化

ジャンシンは、日中両国の地方都市間での連携を強化する計画を進めています。これにより、地域特化型のイノベーションを推進し、地方経済の活性化を図ることを目指しています[22][34]。

例えば、日本の地方都市と中国の地方都市を結びつけることで、両国の企業が持つリソースを最大限に活用し、新たなビジネスチャンスを創出する取り組みが進められています[22][34]。

### 7.3.3 国際的なプレゼンスの向上

ジャンシンは、国際展示会やフォーラムを通じて、活動を世界に発信し、国際的なプレゼンスを高めることを目指しています。これにより、グローバル市場での影響力を拡大し、さらなる成長を実現する計画です[16][17][24]。

また、東南アジアや欧米市場への進出も視野に入れており、これにより、ジャンシンはグローバルなイノベーションネットワークを構築することを目指しています[35][36]。

## 8. ジャンシン(匠新)のリスクと課題

### 8.1 リスク

#### 8.1.1 地政学的リスク

ジャンシン(匠新)は、日中間のイノベーション支援を中心に事業を展開しているため、地政学的リスクが事業運営に大きな影響を及ぼす可能性があります。特に、日中間の政治的緊張や規制の変化は、同社の活動に直接的な影響を与える要因となります。例えば、中国国内では経済安全保障関連法令やデータ安全関連規制が強化



されており、これにより外国企業が中国市場で活動する際のリスクが増大しています[28][29]。また、技術移転やデータ保護に関する規制強化は、日中間の協力プロジェクトにおける障害となる可能性があります[27][28]。

さらに、地政学的リスクは、ジャンシンが推進するオープンイノベーションの取り組みにも影響を及ぼします。特に、技術やデータの共有が重要な要素となるプロジェクトでは、規制の変更や政治的な緊張がプロジェクトの進行を妨げる可能性があります[29]。

### 8.1.2 中国市場特有のリスク

中国市場は急速に変化しており、政策変更や市場動向の変化に迅速に対応する必要があります。例えば、地方政府の規制や市場環境の変化が、事業計画に影響を与える可能性があります[27][28]。また、中国国内での事業運営において、住所や連絡先の不備により「経営異常名録」に登録されるリスクが指摘されています。このような事例は、企業の信頼性や事業継続に影響を及ぼす可能性があります[28]。

さらに、中国市場では、地方ごとに異なる規制や文化的な特性が存在するため、これらに適応するための柔軟性が求められます。特に、地方都市での事業展開においては、現地の規制や市場ニーズを正確に把握することが重要です[22][30]。

### 8.1.3 競争の激化

日中間のイノベーション支援市場では、他のアクセラレーターやコンサルティング企業との競争が激化しています。特に、中国市場では現地企業が優位性を持つ場合が多く、競争環境が厳しい状況です[27][31]。また、ジャンシンが提供するサービスは、他の企業によっても提供されているため、差別化が求められます。

さらに、技術革新のスピードが速い分野では、競争が特に激化しています。AI やデジタルトランスフォーメーション(DX)分野では、新しい技術やサービスが次々と登場しており、これに迅速に対応できない場合、競争力を失うリスクがあります[31][28][29]。

## 8.2 課題

### 8.2.1 財務情報の透明性

ジャンシンは非上場企業であり、財務情報が公開されていないため、投資家やパートナー企業に対する透明性の向上が求められます。この点は、信頼性の確保や新規パートナーの獲得において課題となります[27][30]。特に、財務情報の非公開は、同社の収益構造や事業の持続可能性に関する疑念を生む可能性があります。

また、財務情報の透明性が欠如していることは、同社が新たな資金調達を行う際の障害となる可能性があります。投資家は、企業の財務状況を詳細に把握することで、投資リスクを評価するため、透明性の向上が急務です[13][14]。

### 8.2.2 リソースの制約

ジャンシンは比較的小規模な企業であり、大規模なプロジェクトや急速な市場拡大に対応するためのリソースが限られている可能性があります[27][31]。特に、人材や資金の不足は、事業拡大や新規プロジェクトの実施において大きな課題となります。

さらに、同社が提供するサービスの多様性を維持するためには、専門性の高い人材の確保が必要です。しかし、競争の激しい市場環境では、優秀な人材を確保することが難しい場合があります[24][29]。

### 8.2.3 文化・言語の壁

日中間の文化や言語の違いが、企業間の協力やプロジェクトの進行において障害となる場合があります。特に、スタートアップや中小企業にとっては、これらの壁を乗り越えるための支援が必要です[31][32]。例えば、現地の文化やビジネス慣習を理解しないまま事業を進めると、誤解やトラブルが発生する可能性があります。

また、言語の壁は、日中間のコミュニケーションを妨げる要因となります。特に、技術的な内容や契約条件に関する詳細な議論では、言語の違いが大きな障害となることがあります[32][33]。

### 8.2.4 技術革新のスピード

技術革新や市場動向の変化が非常に速く、これに迅速に対応できない場合、競争力を失うリスクがあります。特に、AI やデジタルトランスフォーメーション(DX)分野では、競争が激化しているため、継続的な技術力の向上が求められます[31][28][29]。

また、新しい技術やサービスを迅速に導入するためには、柔軟な組織体制や十分なリソースが必要です。しかし、これらの要素が不足している場合、技術革新のスピードに追いつくことが難しくなります[34][35]。

## 8.3 対策と展望

### 8.3.1 地政学的リスクへの対応

ジャンシンは、地政学的リスクに対応するため、中国市場での法令遵守やリスク管理を強化しています[28][29]。例えば、現地パートナーとの連携を深めることで、規制リスクを最小化し、事業の安定性を確保しています。また、日中間の政治的緊張が高まる中でも、両国の企業間での協力を促進するための取り組みを継続しています[27][29]。

さらに、地政学的リスクを軽減するために、事業の多角化を進めることも重要です。例えば、東南アジアや欧米市場への進出を視野に入れることで、特定の地域に依存しない事業構造を構築することが可能です[35][36]。

### 8.3.2 競争力の強化

ジャンシンは、競争力を強化するために、日中間のネットワークを活用し、他社との差別化を図っています[31][32]。特に、持続可能な技術や環境保護分野への注力により、新たな市場機会を創出しています。また、アクセラレーションプログラムやハッカソン、ピッチイベントを通じて、大企業とスタートアップの連携を促進し、迅速な市場対応を可能にしています[35][36]。

さらに、技術革新のスピードに対応するため、データ分析やAI技術を活用したマーケティングや事業運営の効率化を進めています[35][36]。

### 8.3.3 リソースの拡充

ジャンシンは、リソースの拡充を通じて、事業規模の拡大に対応しています。特に、グローバルな人材や資金を活用することで、リソース不足の課題を克服しています[24][29]。例えば、上海浦東新区の「グローバル引才パートナー」に選出されたことを契機に、国際的な人材や技術の活用を進めています[24]。

また、同社は、パートナーシップの拡大を通じて、リソースの効率的な活用を図っています。政府機関、投資機関、大企業、スタートアップなど多様なプレイヤーとの連携を強化することで、イノベーションエコシステムのさらなる拡大を目指しています[34][35]。

## 9. ジャンシン(匠新)の将来展望と成長戦略

### 9.1 将来展望

#### 9.1.1 日中イノベーションエコシステムの深化

ジャンシン(匠新)は、日中間のイノベーションエコシステムをさらに深化させることを目指している。このエコシステムは、スタートアップ、大企業、政府機関、学術機関、投資機関など多様なプレイヤーを結びつけるプラットフォームとして機能しており、両国の技術革新と経済成長を促進する役割を果たしている[8][10]。

特に、ジャンシンは大健康(ヘルスケア)、大消費(消費財)、大情報(情報技術)、新材料、新工業、新エネルギーといった高成長分野に注力している。これらの分野では、日中両国の企業が協力して新たな価値を創造することが可能であり、単一企業では対応が難しい複雑な市場ニーズに応えることができる[15][16]。

また、2024年の第7回中国国際輸入博覧会では、環境に優しい新材料「LIMEX」を開発する日本企業TBMと協力し、持続可能な技術革新を推進した。このような取り組みを通じて、ジャンシンは日中間の技術交流をさらに深化させ、両国の企業が直面する課題に対する革新的なソリューションを提供している[16][17]。

#### 9.1.2 地域間連携の拡大

ジャンシンは、日中両国の地方都市間での連携を強化し、地域特化型のイノベーションを推進している。中国国内では、山西省など地方都市での産業発展に注目し、新エネルギーや新材料分野での協力を推進している[22]。例えば、山西省では、同地域の産業発展状況を深く理解し、日中企業間の新たな協力機会を模索するための交流イベントを開催した[22]。

一方、日本国内では、地方の中小企業やスタートアップを対象に、グローバル市場への進出を支援する取り組みを強化している。これにより、地方経済の活性化とともに、日中間の経済連携をさらに深化させることを目指している[34][35]。

さらに、ジャンシンは上海や北京を中心に活動を広げ、深圳でも新たな拠点を設立する計画を進めている。このような地域間連携の拡大により、日中両国の地方経済の活性化を促進し、持続可能な成長を実現することを目指している[7][22]。

### 9.1.3 持続可能な技術への注力

ジャンシンは、環境保護や持続可能性に関連する技術分野への注力を継続している。特に、新エネルギーや新材料分野でのプロジェクトを推進し、環境負荷の軽減や資源の効率的利用を目指している[16][17]。

例えば、LIMEXのような革新的な素材を通じて、自然資源の保護や環境負荷の軽減を実現している。この素材は、石灰石を主成分とし、石油樹脂の代替や水資源の節約に寄与するものであり、持続可能な社会の実現に向けた重要な技術として注目されている[16][17]。

また、ジャンシンは、AIやデジタルトランスフォーメーション(DX)技術を活用し、企業が直面する課題に対応するソリューションを提供している。これにより、持続可能な技術革新を推進し、日中両国の企業が新たな市場機会を捉えることを支援している[15][16]。

## 9.2 成長戦略

### 9.2.1 オープンイノベーションの推進

ジャンシンは、オープンイノベーションを推進するためのアクセラレーションプログラムやハッカソン、ピッチイベントを通じて、大企業とスタートアップの連携を促進している[8][10]。これにより、迅速な市場対応と革新的なソリューションの開発を可能にしている。

特に、AIやデジタルトランスフォーメーション(DX)分野での取り組みを強化し、企業の競争力向上を支援している。これにより、日中間の技術革新をさらに加速させることを目指している[15][16]。

## 9.2.2 グローバル展開の強化

ジャンシンは、日中間の協力にとどまらず、東南アジアや欧米市場への進出も視野に入れている。これにより、グローバルなイノベーションネットワークを構築し、さらなる成長を目指している[35][36]。

また、国際展示会やフォーラムを通じて、ジャンシンの活動を世界に発信し、国際的なプレゼンスを高めることを計画している。これにより、グローバル市場での影響力をさらに拡大することを目指している[34][35]。

## 9.2.3 データ駆動型の成長

ジャンシンは、データ分析や AI 技術を活用したマーケティングや事業運営の効率化を進めている。これにより、企業が市場の変化に迅速に対応できるよう支援している[35][36]。

特に、AI を活用した市場調査やデータ分析を通じて、企業が新たな市場機会を捉えるための支援を行っている。これにより、データ駆動型の成長を実現し、企業の競争力を向上させることを目指している[15][16]。

## 9.2.4 パートナーシップの拡大

ジャンシンは、政府機関、投資機関、大企業、スタートアップなど多様なプレイヤーとの連携を強化している。これにより、イノベーションエコシステムのさらなる拡大を目指している[34][35]。

特に、上海浦東新区の「グローバル引才パートナー」に選出されたことを契機に、国際的な人材や技術の活用を進めている。これにより、ジャンシンは日中間の技術革新をさらに加速させることを目指している[24][29]。

## 9.3 課題への対応

### 9.3.1 地政学的リスク

ジャンシンは、日中間の政治的緊張や規制の変化に対応するため、法令遵守やリスク管理を強化している。特に、中国市場での法令遵守や現地パートナーとの連携を深めることで、規制リスクを最小化している[27][28]。

また、地政学的リスクに対する対応策として、事業活動の多角化や新たな市場への進出を進めている。これにより、リスク分散を図り、事業の安定性を確保している[28][29]。

### 9.3.2 競争の激化

ジャンシンは、他のアクセラレーターやコンサルティング企業との差別化を図るため、持続可能な技術や環境保護分野への注力を進めている[34][35]。

また、日中間のネットワークを活用し、他社との差別化を図ることで、競争優位性を維持している。これにより、競争の激化に対応し、事業の成長を実現している[31][32]。

### 9.3.3 リソースの拡充

ジャンシンは、グローバルな人材や資金を活用し、事業規模の拡大に対応している。特に、上海浦東新区の「グローバル引才パートナー」に選出されたことを契機に、国際的な人材や技術の活用を進めている[24][29]。

また、リソースの拡充に向けた取り組みとして、新たなパートナーシップの構築や資金調達の強化を進めている。これにより、事業の成長を支える基盤を強化している[34][35]。

## 10. 結論

### 10.1 ジャンシンの役割と意義

ジャンシン(匠新)は、日中間のスタートアップおよびイノベーション支援を専門とするアクセラレーターとして、独自の役割と意義を果たしている。その活動は、単なるビジネス支援にとどまらず、日中両国の経済、技術、文化の架け橋としての重要な役割を担っている。

まず、ジャンシンの最大の特徴は、日中間の相互補完的な協力を促進する点にある。日本が持つ技術力や高齢化社会に対応する介護サービスなどの強みと、中国が持つ市場規模やデジタルトランスフォーメーション(DX)、人工知能(AI)技術の進展を組み合わせることで、両国の企業が新たな価値を創造する場を提供している[1][2][3]。例えば、環境に優しい新材料「LIMEX」を開発する日本企業 TBM との協力

を通じて、持続可能な技術革新を推進し、自然資源の保護や環境負荷の軽減に寄与している[16][17]。

また、ジャンシンは、日中間のオープンイノベーションを推進するプラットフォームとして、スタートアップと大企業の連携を支援している。アクセラレーションプログラムやハッカソン、ピッチイベントを通じて、企業間の協力を深め、迅速な市場対応と革新的なソリューションの開発を可能にしている[8][10][11]。これにより、単一企業では対応が難しい複雑な市場ニーズに応えることができる。

さらに、ジャンシンは、日中イノベーションエコシステムの構築において中心的な役割を果たしている。政府機関、投資機関、大企業、スタートアップ、学術機関、メディアなど多様なプレイヤーを結びつけることで、情報共有やネットワーキングの場を提供し、イノベーションの加速を支援している[8][19]。特に、2021年に設立された日中イノベーションコミュニティは、企業間の協力を深めるための重要なプラットフォームとして機能している[7][12]。

ジャンシンの意義は、単なる経済的な利益の追求にとどまらず、社会的な価値の創造にもある。例えば、持続可能な技術や環境保護分野への注力を通じて、地球環境の保護や社会的課題の解決に貢献している[16][17]。また、文化や言語の壁を乗り越えるための支援を行い、日中間の相互理解を深める役割も果たしている[31][32]。

このように、ジャンシンは、日中間の経済、技術、文化の連携を深化させることで、両国の企業や社会にとって不可欠な存在となっている。その活動は、単なるビジネス支援を超え、日中間の新たな価値創造を実現するための重要な基盤を提供している。

## 10.2 今後の期待と展望

ジャンシンの今後の展望は、日中間のイノベーションエコシステムをさらに深化させ、グローバル市場での影響力を拡大することにある。そのためには、以下のような取り組みが期待される。

まず、ジャンシンは、日中間の新たな分野での協力を模索する必要がある。特に、環境保護、健康・介護、デジタル経済、スマート農業などの分野での協力が期待されている[22][23][34]。これらの分野は、両国が直面する社会的課題に対応するだけでなく、新たな市場機会を創出する可能性を秘めている。



また、地域間連携の強化も重要な課題である。中国国内では、地方都市での産業発展を支援し、日本国内では、地方の中小企業やスタートアップを対象に、グローバル市場への進出を支援する取り組みを強化することが求められる[22][34]。これにより、日中両国の地方経済の活性化が期待される。

さらに、ジャンシンは、グローバル市場での展開を進める必要がある。東南アジアや欧米市場への進出を視野に入れ、国際的なイノベーションネットワークを構築することで、さらなる成長を目指すことができる[35][36]。また、国際展示会やフォーラムを通じて、ジャンシンの活動を世界に発信し、国際的なプレゼンスを高めることが期待される[34][35]。

一方で、ジャンシンは、地政学的リスクや競争の激化といった課題にも直面している。これらのリスクに対応するためには、法令遵守やリスク管理を強化し、現地パートナーとの連携を深めることが必要である[27][28][29]。また、持続可能な技術や環境保護分野への注力を通じて、他社との差別化を図ることが求められる[16][17][31]。

最後に、ジャンシンは、データ駆動型の成長戦略を推進する必要がある。データ分析や AI 技術を活用したマーケティングや事業運営の効率化を進めることで、企業が市場の変化に迅速に対応できるよう支援することが期待される[35][36]。

ジャンシンの今後の成功には、これらの取り組みを通じて、日中間のイノベーションエコシステムを深化させるとともに、グローバル市場での影響力を拡大することが不可欠である。その活動は、日中両国のみならず、世界全体にとっても重要な意義を持つものであり、今後のさらなる発展が期待される。

## ソース

ジャンシン(匠新)の企業概要と沿革

1



[newspicks.com](https://newspicks.com) > user > 1546757

田中 年一さんのユーザーページ - NewsPicks 田中 年一 日中でのスタートアップおよびイノベーション連携を推進する日中スタートアップ/コーポレート・アクセラレーター「匠新

(ジャンシン)」の創業者 CEO。日中連携を推進するアクセラレーターは匠新が唯一。また中国で最も国際的なアクセラレーター「XNode」のマネージングディレクターも兼務。2013年に独立する以前はデロイトトーマツにおいて12年間 M&A アドバイザリー業務や投資コンサルティング業務、株式上場支援業務、上場企業監査業務等に従事。うち 2005 年から 2009 年の 4 年間はデロイトの上海オフィスに駐在し、中国企業の日本 IPO プロジェクトや日系企業の IFRS 監査、投資コンサルティング業務等に従事。デロイトトーマツに入社する以前は Hewlett Packard 社でシステムエンジニアとして 4 年間の大企業向けエンタープライズシステム開発・販売にも従事し、IT のバックグラウンドも有する。東京大学工学部航空宇宙工学科卒業、米国公認会計士、中国公認会計士科目合格(会計、税務)。日経クロストrend で現在中国 テック ジャイアント「BAT」の記事を連載中。  
<http://trend.nikkeibp.co.jp/atcl/contents/technology/00004/> プロフィールをもっと見る

日中でのスタートアップおよびイノベーション連携を推進する日中スタートアップ/コーポレート・アクセラレーター「匠新(ジャンシン)」の創業者 CEO。日中連携を推進するアクセラレーターは匠新が唯一。また中国で最も国際的なアクセラレーター「XNode」のマネージングディレクターも兼務。2013年に独立する以前はデロイトトーマツにおいて12年間 M&A アドバイザリー業務や投資コンサルティング業務、株式上場支援業務、上場企業監査業務等に従事。うち 2005 年から 2009 年の 4 年間はデロイトの上海オフィスに駐在し、中国企業の日本 IPO プロジェクトや日系企業の IFRS 監査、投資コンサルティング業務等に従事。デロイトトーマツに入社する以前は Hewlett Packard 社でシステムエンジニアとして 4 年間の大企業向けエンタープライズシステム開発・販売にも従事し、IT のバックグラウンドも有する。東京大学工学部航空宇宙工学科卒業、米国公認会計士、中国公認会計士科目合格(会計、税務)。日経クロストrend で現在中国 テック ジャイアント「BAT」の記事を連載中。  
<http://trend.nikkeibp.co.jp/atcl/contents/technology/00004/> 日中でのスタートアップおよびイノベーション連携を推進する日中スタートアップ/コーポレート・アクセラレーター「匠新(ジャンシン)」の創業者 CEO。日中連携を推進するアクセラレーターは匠新が唯一。また中国で最も国際的なアクセラレーター「XNode」のマネージングディレクターも兼務。2013年に独立する以前はデロイトトーマツにおいて12年間 M&A アドバイザリー業務や投資コンサルティング業務、株式上場支援業務、上場企業監査業務等に従事。うち 2005 年から 2009 年の 4 年間はデロイトの上海オフィスに駐在し、中国企業の日本 IPO プロジェクトや日系企業の IFRS 監査、投資コンサルティング業務等に従事。デロイトトーマツに入社する以前は Hewlett Packard 社でシステムエンジニアとして 4 年間の大企業向けエンタープライズシステム開発・販売にも従事し、IT のバックグラウンドも有する。東京大学工学部航空宇宙工学科卒業、米国公認会計士、中国公認会計士科目合格(会計、税務)。日経クロストrend で現在中国 テック ジャイアント「BAT」の記事を連載中。  
<http://trend.nikkeibp.co.jp/atcl/contents/technology/00004/> プロフィールをもっと見る

日中でのスタートアップおよびイノベーション連携を推進する日中スタートアップ/コーポ

レート・アクセラレーター「匠新 (ジャンシン)」の創業者 CEO。日中連携を推進するアクセラレーターは匠新が唯一。また中国で最も国際的なアクセラレーター「XNode」のマネージングディレクターも兼務。2013年に独立する以前はデロイトトーマツにおいて12年間M&A アドバイザリー業務や投資コンサルティング業務、株式上場支援業務、上場企業監査業務等に従事。うち2005年から2009年の4年間はデロイトの上海オフィスに駐在し、中国企業の日本 IPO プロジェクトや日系企業のIFRS監査、投資コンサルティング業務等に従事。デロイトトーマツに入社する以前はHewlett Packard社でシステムエンジニアとして4年間の大企業向けエンタープライズシステム開発・...

2



cn.linkedin.com > company > takumi-inno

高本イノベーター匠新 - 領英概要、「匠新タクミのイノベーター」は日中で唯一の日中スタートアップ&イノベーション支援プラットフォームです。日本のベンチャー企業が中国で起業して成功するための様々なサービスを提供します。既に多くの日系ベンチャー企業の中国スタートアップを支援しており、中国における資金調達やパートナー開拓、人材発掘、製造、販売、メディア露出、マーケティング、法務、税務、会計といった幅広いサービスをワンストップで提供しています。また日本の大企業や中国の大企業向けに大企業のイノベーションを加速させるためのイノベーションアドバイザリーサービスも提供しています。大企業向けのアクセラレーションプログラムやハッカソン、ピッチイベント、ラーニングエクスペディション、スタートアップスカウティング等のサービスを通じ、大企業とスタートアップ企業との間のオープンイノベーション実現の一翼を担います。ウェブサイト、-<http://www.takumi.ltd>、takumiの革新者匠新の外部リンク、 - ビジネスコンサルティング・サービス、業種、 - 会社規模、 - 社員 2-10 - 創立、 - 2015、場所、 - プライマリ、道順を表示...

3



techblitz.com > expert-insight > contribution-takumi-innovators06

【寄稿】海外進出を進める中国スタートアップの特徴、強みと ...2015年に上海でジャンシンを立ち上げ、2018年には深センと東京にも拠点を設立。2013年の独立以前はデロイトトーマツ東京/上海にてM&Aや投資コンサル、.....

4



page.cybozu.co.jp > - > cybozudays2018sh > activities > 2551

匠新タクミのイノベーター / xnode 創極無限...日中で唯一の日中スタートアップ&イノベーション支援プラットフォームを展開する「匠新タクミのイノベーター」の創業者 CEO また中国で最も国際的な.....

5



[xtrend.nikkei.com](http://xtrend.nikkei.com) > authors > 18 > tanaka\_toshikazu

田中 年一：経歴・執筆記事 - 日経クロストrend日中でのスタートアップおよびイノベーション連携を推進する唯一のアクセラレーター「匠新（ジャンシン）」のCEO。2015年に上海で匠新を立ち上げ、2018年には深センと .....

6



[www.jc-web.or.jp](http://www.jc-web.or.jp) > pages > 1794

【投促】拡大版中国ビジネス実務セミナー | 一般財団法人日中 ...協会沿革・賛助会員制度・主要人事・組織図・|広報資料・情報公開資料(予算・決算 ... 匠新(ジャンシン)CEO 田中年一氏匠新(ジャンシン)マネージャー/アナリスト齋藤 .....

7

[news.3rd-in.co.jp](http://news.3rd-in.co.jp) > article > 63816b88-594b-11ef-85cb-9ca3ba083d71

ジャンシンのミッションと会社の理念を再定義する旅  
ジャンシンのミッションと会社の理念を再定義する旅 2015年7月17日、ジャンシンは設立され、今年の7月17日で9周年を迎えました。当初はわずか2名でスタートし、その後数年間は数名程度の小規模な企業として運営していました。しかし、最近では新たなメンバーが加わり、現在の社員数は15名に達しています。新たな仲間が加わるたびに、創業者としての喜びを感じています。一方、設立から数年はビジネスモデルが確立されず、社員が少ない中で会社の経営方針や理念が未整備であったため、方向性を示すことができない状態が続いていました。その結果、社員が迷い、どの方向に進むべきか分からないという状況が頻発。これは看過できない問題だと認識し、2020年に「ミッション」と「ビジョン」を定めることが必要だと感じました。その年の年末、全社員で合宿を行い、将来の方向性や日々の行動において大切にすべき「価値観」について議論しました。そして、最終的にこれらを5つの要素に絞り込むことで、いわゆる「MVV」が完成しました。MVVとは「Mission」「Vision」「Value」をまとめたもので、日本語ではそれぞれ「ミッション」「ビジョン」「価値観」と訳されます。これらを社員全員が共有できるように言語化し、可視化するために試行錯誤を重ねた結果、独自の図を作成しました。この図では、顧客への提供価値と社会への影響度を縦軸と横軸に配置し、その交わることで時間軸を示すようにしました。具体的には「ミッション」とは日中間の新たな貢献を示し、「ビジョン」は自社の未来像を描き、「価値観」は日々の判断基準としています。更に、顧客に対する価値提供も併せてこの図に明示されました。このMVVにより、社員全員が会社の社会的意義や方向性を共有でき、迷いが減少しました。具体的な内容に移りますと、ジャンシンは次のように定義しています：このミッションの中でも、特に重要視しているのは「日中のあり方を再定義し、新たな価値を創造する」です。日本と中国の

関係は、時代とともに変化しており、以前の「世界の工場」という位置付けから「世界の市場」、さらには「イノベーション大国」へと移行しています。この移り変わりに伴い、企業の協業も新たな形を必要としていますが、過去の固定観念に囚われることも多く、これは新たな価値創造を阻害する要因となっています。イノベーションへの取り組みも重要であり、失敗を恐れず、事例の共有や共同での取り組みを進めるために、日中イノベーションコミュニティを2021年に設立しました。現在は上海と北京を中心に活動を広げ、さらには深圳でも新しい仲間を迎え入れたいと考えています。2025年の10周年に向けて、ジャンシンは引き続き日中間での新たな価値創造の実現に向けて努力を続けます。皆様からのご支援が何よりの力となりますので、今後とも応援いただければ幸いです。一方、設立から数年はビジネスモデルが確立されず、社員が少ない中で会社の経営方針や理念が未整備であったため、方向性を示すことができない状態が続いていました。その結果、社員が迷い、どの方向に進むべきか分からないという状況が頻発。これは看過できない問題だと認識し、2020年に「ミッション」と「ビジョン」を定めることが必要だと感じました。その年の年末、全社員で合宿を行い、将来の方向性や日々の行動において大切にすべき「価値観」について議論しました。そして、最終的にこれらを5つの要素に絞り込むことで、いわゆる「MVV」が完成しました。MVVとは「Mission」「Vision」「Value」をまとめたもので、日本語ではそれぞれ「ミッション」「ビジョン」「価値観」と訳されます。これらを社員全員が共有できるように言語化し、可視化するために試行錯誤を重ねた結果、独自の図を作成しました。この図では、顧客への提供価値と社会への影響度を縦軸と横軸に配置し、その交わることで時間軸を示すようにしました。具体的には「ミッション」とは日中間の新たな貢献を示し、「ビジョン」は自社の未来像を描き、「価値観」は日々の判断基準としています。更に、顧客に対する価値提供も併せてこの図に明示されました。このMVVにより、社員全員が会社の社会的意義や方向性を共有でき、迷いが減少しました。具体的な内容に移りますと、ジャンシンは次のように定義しています： -- Mission (ミッション)：日中のあり方を再定義し、新たな価値を創造する。日中イノベーションコミュニティを醸成します。 -- Vision (ビジョン)：日中イノベーションエコシステムを中心に立ち、プロフェッショナル集団及び信頼されるアドバイザーとして成長します。 -- Value (価値観)：差異を尊重し価値を創造し、共...

8



[www.excite.co.jp > news > article > Prtimes\\_2024-07-26-146609-2](http://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2024-07-26-146609-2)

ジャンシン(匠新)企業紹介 (2024年7月26日) - エキサイト [画像 1:  
[https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-355848d831115ca33faff9fd2f5b41c6-1748x750.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-355848d831115ca33faff9fd2f5b41c6-1748x750.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)]「ジャンシン(匠新)」は匠技新(上海)創業孵化器管理有限公司およびジャンシン

ン・ジャパン株式会社をグループ企業として抱え、日中間のスタートアップおよびイノベーション連携を推進するアクセラレーターです。日中のリソースを有機的に組み合わせ、日系ベンチャー企業向け中国事業展開支援、中国ベンチャー企業向け日本事業展開支援、日系大企業向け日中オープンイノベーション支援など、日中間での様々なサービスを提供します。なぜ今「オープンイノベーション(OI)」なのか 今の速い市場変化に合わせて開発するには自社のみでの開発ではスピードが追いつかず、また成熟企業とベンチャーは経営資源面やスピード面においてお互いに補完関係にあり、相互連携により Win-Win を実現。 [画像 2:

[https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-f516fd097e7e998ef84029b32080aa2b-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-f516fd097e7e998ef84029b32080aa2b-792x517.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)

[792x517.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-f516fd097e7e998ef84029b32080aa2b-792x517.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)]

なぜオープンイノベーションを「日中」でなのか 日中それぞれの強みはオープンイノベーションにおいてさらに相互補完の関係にあり、地理的に近くまた市場も大きく、相互連携により日中イノベーション共創を実現。 [画像 3:

[https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-a66ff1236b8fd4dc6162511097e8ee05-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-a66ff1236b8fd4dc6162511097e8ee05-880x652.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)

[880x652.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-a66ff1236b8fd4dc6162511097e8ee05-880x652.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)]

日中イノベーションエコシステムのハブとなり各プレイヤーへ関連サービスを提供 事業会社とベンチャー企業以外にも政府機関や投資機構、学術機関、メディア等とも連携し、日中イノベーションエコシステムを拡充していきます。 [画像 4:

[https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-19430410f3a388b6c69c0467acc71185-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-19430410f3a388b6c69c0467acc71185-1842x869.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)

[19430410f3a388b6c69c0467acc71185-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-19430410f3a388b6c69c0467acc71185-1842x869.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)

[1842x869.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-1842x869.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff) ] 代 表 紹 介 [ 画 像 5:

[https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-22eb4db8941fa3f9e9c530fcda9b6c79-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-22eb4db8941fa3f9e9c530fcda9b6c79-2000x2491.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)

[22eb4db8941fa3f9e9c530fcda9b6c79-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-22eb4db8941fa3f9e9c530fcda9b6c79-2000x2491.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)

[2000x2491.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-2000x2491.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)] ・ 2015年に上海で「ジャンシン(匠新)」を立ち上げ、2018年には深センと東京にも拠点を設立 ・ 2013年に独立する以前はデロイトトーマツにおいて12年間M&Aアドバイザー業務やIPO支援業務等に従事 ・ うち2005年から2009年の4年間はデロイトの上海オフィスに駐在、中国企業の日本IPOを含む日中間のプロジェクトに多く関与 ・ デロイトトーマツに入社する以前は Hewlett Packard 社でシステムエンジニアとして従事し、ITのバックグラウンドも有する ・ 上海に多大なる貢献をしたと評価される外国人に対して表彰される賞「白玉蘭記念賞」の2019年受賞者 ・ 東京大学工学部航空宇宙工学科卒業、米国公認会計士、中国公認会計士科目合格(会計、税務)、中国ファンド従事者資格合格。 ・ 現在日経クロストレンドで中国テックジャイアント「BATH」の記事を連載中。

<https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00327/> 【お問い合わせ】 ジャンシン (匠新)

について興味のある方、ご質問をお持ちの方は、弊社ホームページまでお気軽にお問い合わせ下さい！ 公式 HP： <https://prtimes.jp>

9



[prtimes.jp](https://prtimes.jp) > [main](#) > [html](#) > [rd](#) > [p](#) > [000000020.000146609.html](#)

【中国イノベーション情報】 BATH+  $\alpha$  最新動向 | 2024 年 9 月号 【中国イノベーション情報】 BATH+  $\alpha$  最新動向 | 2024 年 9 月号 バイドゥ、アリババ集団、テンセント、ファーウェイというテックジャイアント 4 社に加え、AI（人工知能）活用で秀でる Sensetime や Cloudwalk、中国の消費動向を左右している ByteDance などといった、中国の最新事情をまさに体現している企業を最適のタイミングで取り上げる。AI や自動運転、電子コマース、ロボットなどがけん引する中国の消費とイノベーションの最前線を、現地の専門家によるレポートなどから浮き彫りにする。日経 BP 社「日経クロストrend」にて、毎週更新しております。以下は 2024 年 9 月の内容をまとめてご紹介いたします。テンセントが手掛ける緊急地震速報 微信の新サービスで命を守る 中国ネットサービス大手の騰訊控股（テンセント）は、中国地震局の指導の下、中国地震ネットワークセンターおよび中央広播電視总台傘下の中国国家応急広播と共同で、SNS アプリ「微信」上の「中国地震台網（直訳で、中国地震ネットワーク）」を開発した。ユーザーは、微信内のアプリ「小程序」から同サービスにアクセスし、緊急地震速報を受信できる。バイドゥ、13 年目を迎えた社内ハッカソン アイデアは 250 以上 中国インターネット検索最大手の百度は、社内ハッカソン「第 28 季百度黑客馬拉松」の決勝戦を行った。百度は、毎年この社内ハッカソンを開催することで、社員のイノベーション能力向上を図っている。今回の社内ハッカソンでは、百度社内の様々な部門の約 1000 人の中から構成された 256 チームが、実用シーンを起点とする、AI を利用したアプリケーションの開発に挑んだ。バイトダンス 自社初の MR オールインワンデバイスを発表 中国発の動画投稿アプリ「TikTok」を運営する北京字節跳動科技傘下の VR ヘッドセットメーカー、北京小鳥看看科技は、自社初の MR オールインワンデバイス「PICO 4 Ultra」を発表した。同製品は、米半導体大手クアルコムの「Snapdragon XR2 Gen 2」を搭載。ハイエンドな装備と緻密で効率的かつスムーズな操作性により、ユーザーに新しい MR 体験を提供する。テンセントと世界ロボットコンテスト デジタル人材の育成を加速 中国ネットサービス大手の騰訊控股傘下の騰訊科技は、ロボット界の青少年向け「オリンピック」と称される「2024 世界機器人大賽 北京錦標賽」（世界ロボットコンテスト北京大会）にて、中国の学術系社会団体である中国電子学会とグローバル戦略提携を締結した。この提携は、両者のデジタル技術分野で蓄積された知見を基に、高度な技術の普及と青少年のデジタルリテラシーの向上を目的としている。ジャンシン(匠新)は自社メルマガ「中国イノベーション通信」にて上記の注目中国スタートアップ企業を含めた、中国イノベーションに関する最新ニュース、コラム、イベントなどの情報を毎週配信しております。メルマガの無料購読にご興味のある方は下記からお申し込みくださいませ。すべての画像 - 種類 - 調査



prtimes.jp > main > html > rd > p > 000000002.000146609.html

ジャンシン(匠新)企業紹介 - PR TIMES ジャンシン(匠新)企業紹介 日中間でのオープンイノベーションを推進するアクセラレーター 「ジャンシン (匠新)」は匠技新(上海)創業孵化器管理有限公司およびジャンシン・ジャパン株式会社をグループ企業として抱え、日中間のスタートアップおよびイノベーション連携を推進するアクセラレーターです。日中のリソースを有機的に組み合わせ、日系ベンチャー企業向け中国事業展開支援、中国ベンチャー企業向け日本事業展開支援、日系大企業向け日中オープンイノベーション支援など、日中間での様々なサービスを提供します。なぜ今「オープンイノベーション(OI)」なのか 今の速い市場変化に合わせて開発するには自社のみでの開発ではスピードが追いつかず、また成熟企業とベンチャーは経営資源面やスピード面においてお互いに補完関係にあり、相互連携により Win-Win を実現。なぜオープンイノベーションを「日中」でなのか 日中それぞれの強みはオープンイノベーションにおいてさらに相互補完の関係にあり、地理的に近くまた市場も大きく、相互連携により日中イノベーション共創を実現。日中イノベーションエコシステムのハブとなり各プレイヤーへ関連サービスを提供 事業会社とベンチャー企業以外にも政府機関や投資機構、学術機関、メディア等とも連携し、日中イノベーションエコシステムを拡充していきます。代表紹介 【お問い合わせ】 ジャンシン (匠新) について興味のある方、ご質問をお持ちの方は、弊社ホームページまでお気軽にお問い合わせ下さい！すべての画像 - 種類 - 経営情報 - ビジネスカテゴリ - 経営・コンサルティングその他 - キーワード - 日中イノベーション - ダウンロード...



techblitz.com > report > waic2024-trend-report-202408-by-takumi-innovators

【中国版 CES】中国人工知能大会 (WAIC) 2024 特集レポート読者により幅広い情報をお届けすべくスタートしたパートナーレポート企画。今回は、日中でのスタートアップおよびイノベーション共創を推進するアクセラレーターである「ジャンシン (匠新)」が作成した「中国人工知能大会 (WAIC) 2024 特集レポート」をお届けします。 ※レポート本誌は、2024年8月に「※レポート本誌は、2024年8月に「BLITZ Portal」ご利用企業向けに発刊しております。ジャンシン (匠新) とは Image: ジャンシン (匠新) HP 2015年に上海で立ち上げられた、日系事業会社向けに日中オープンイノベーション共創を推進するアクセラレーターです。設立以来、業界ごとのイノベーション状況解説や現地スタートアップを招いたハッカソン、ピッチイベントなど数多くのサービスを通じて大企業とスタートアップのイノベーション実現を促進しています。関連レポート 【2024年最新レポート】中国 BATH (中国ビッグ4) トレンドレポート WAIC2024は「大規模 AI モデル」「コンピュー



ティング力」「ロボット技術」「自動運転」などの最先端分野に焦点を置いたカンファレンスに「中国人工知能大会 (WAIC) 2024 特集レポート」では、以下の内容をレポートとしてまとめています。 - WAIC2024 の基本情報 - WAIC2024 の展示概要とそのポイント - WAIC2024 から見る中国 AI 最新トレンド - WAIC2024 出展企業の分析 - 大規模 AI モデル編 - コンピューティング編 - V データガバナンス編 - ロボット編 - 自動運転編

WAIC2024 出展スタートアップ紹介 コンピューティング編 摩爾線程 (MOORE THREADS) Image: MOORE THREADS HP AI と高性能コンピューティングのプラットフォームであり、データセンター、エッジコンピューティングサーバー、プロフェッショナルワークステーション、高性能 PC 向けの GPU (画像処理装置) とその関連サービスを提供。同社は、チップからグラフィックカード、クラスターに至るまでのスマートコンピューティング製品群を持ち、全機能 GPU の多元的なコンピューティングの優位性を活用して、増大する大規模 AI モデルのトレーニングと推論のニーズに応える。自主革新 GPU の知的財産権を強みとし、国産高性能コンピューティングエコシステムの構築を支援。これにより、大規模 AI モデル、生成 AI、科学コンピューティング、デジタルツイン、物理シミュレーション、メタバースへの応用に対応している。 - 本拠地：中国 北京市 海淀区 - HP : <https://www.mthreads.com/> - 企業概要ページ : <https://blitzportal.com/startups/Moore-Threads-NKWYLExn>

ロボット編 樂聚机器人 (LEJU Robotics) Image: LEJU Robotics HP 人型ロボットの研究開発に注力。主に、中国のハルビン工業大学 (HIT) のロボット研究開発チームから構成される。同社は、様々な人型ロボットを発売しており、教育、医療、物流、家庭サービスなどの産業で広く利用されている。中でも、同社が発売した人型ロボットシリーズ「Aelos」は、2018 年に開催された平昌冬季オリンピックの「北京 8 分」に AI の代表として登壇。同社は 23 年 12 月、オープンソースの Harmony OS をベースにした初のヒューマンノイドロボット KUAVO (クアボ) を発売。同ロボットは、炒め物や掃き掃除などの日常的な家庭での応用だけでなく、工場現場に投入し、学習を通じてリスクの高い錫浸漬作業、物流搬出入、包装 QR コードスキャンなども作業可能。 - 本拠地：中国 深圳市 龍華新 区 - HP : <https://www.lejurobot.com/> - 企業概要ページ : <https://blitzportal.com/startups/Leju-Robotics-Jxy5naDx>

自動運転編 九識智能 (Zelos) Image: Zelos HP 九識 (ZELOS) は、北京と米国シリコンバレーに研究開発センターを持つ、都市流通向け自動運転製品の研究開発企業。同社の無人物流配送車は、大規模な実用化段階に突入しており、世界 70 近くの地域の公道で大規模な運用を実現している。スーパーマーケットなどの小売など、複数の運用シーンにおいて、顧客に低コスト、高効率な配送サービスを提供。同社は直近の 24 年 5 月 29 日、上海浦東新区にて、上海初の無人運転装備のナンバープレートを取得。これは、同社が超大都市での展開で段階的な成果を収め、自動運転製品の規模化ビジネスの準備を整えたことになる。すでに全国 20 以上の...

12



prtimes.jp > main > html > rd > p > 000000007.000146609.html

日系企業の中国イノベーションへの取り組みを後押し！日中 ...匠新（ジャンシン）は2021年6月から上海と北京で「日中イノベーションコミュニティ」を運営してきており、中国でイノベーションや新規事業に携わる .....

13



prtimes.jp > main > html > rd > p > 000000002.000146609.html

ジャンシン(匠新)企業紹介 - PR TIMES ジャンシン(匠新)企業紹介 日中間でのオープンイノベーションを推進するアクセラレーター 「ジャンシン（匠新）」は匠技新（上海）創業孵化器管理有限公司およびジャンシン・ジャパン株式会社をグループ企業として抱え、日中間のスタートアップおよびイノベーション連携を推進するアクセラレーターです。日中のリソースを有機的に組み合わせ、日系ベンチャー企業向け中国事業展開支援、中国ベンチャー企業向け日本事業展開支援、日系大企業向け日中オープンイノベーション支援など、日中間での様々なサービスを提供します。なぜ今「オープンイノベーション(OI)」なのか 今の速い市場変化に合わせて開発するには自社のみでの開発ではスピードが追いつかず、また成熟企業とベンチャーは経営資源面やスピード面においてお互いに補完関係にあり、相互連携により Win-Win を実現。なぜオープンイノベーションを「日中」でなのか 日中それぞれの強みはオープンイノベーションにおいてさらに相互補完の関係にあり、地理的に近くまた市場も大きく、相互連携により日中イノベーション共創を実現。日中イノベーションエコシステムのハブとなり各プレイヤーへ関連サービスを提供 事業会社とベンチャー企業以外にも政府機関や投資機構、学術機関、メディア等とも連携し、日中イノベーションエコシステムを拡充していきます。代表紹介 【お問い合わせ】 ジャンシン（匠新）について興味のある方、ご質問をお持ちの方は、弊社ホームページまでお気軽にお問い合わせ下さい！すべての画像 - 種類 - 経営情報 - ビジネスカテゴリ - 経営・コンサルティングその他 - キーワード - 日中イノベーション - ダウンロード...

14

crosscapital.ltd > wp > strength

私たちの強さ - クロスキャピタル匠新（ジャンシン）「ジャンシン（匠新）」は 匠新（ジャンシン）「ジャンシン（匠新）」はイノベーション・アクセラレーターです。日本および中国の様々なリソースを有機的に組み合わせ、日系ベンチャー企業向け中国事業展開支援、中国ベンチャー企業向け日本事業展開支援、日系大企業向け日中オープンイノベーション支援など、日中間での様々なサービスを提供します。既に多くの日中のベンチャー企業を支援しており、資金調達やパートナー開拓、人材発掘、製造、販売、メディア露出、マーケティング、法務、税務、会計といった幅広い支援サービスをワンストップで提供しています。日系大企業向けには中国に関するイノベーション調査や新規事業のアイデア探索、協業先

選定、そして協業の実行までをワンストップで支援します。また日中イノベーションコミュニティの運営も行うことにより、日系大企業と中国スタートアップ企業との日中オープンイノベーション実現の一翼を担います。デザイン / ブランディングパートナー、デザイン・データ・テクノロジーを組み合わせ、従来の枠組みにはまらないビジネスを創出するビジネス・インベンション・ファーム。新しいビジネス機会を創出する最善の顧客体験構築を目指し、企業のパートナーとして、戦略・デザイン・インキュベーションを横断するソリューションを提供している。ニューヨークと東京に拠点を置き、これまで TOYOTA クロスキャピタルとの協業により、LP

15



[www.zqsw.com](http://www.zqsw.com) > 12762.html

科学的技術革新のための国境を越えた協力橋を構築し、jiangxin は 2024 年の世界人工知能会議でデビューしました科学的技術革新のための国境を越えた協力橋を構築し、jiangxin は 2024 年の世界人工知能会議でデビューしました。会議と人工知能グローバル上海で高レベルガバナンス会議が壮大にオープンしました。Jiangjixin (上海) 起業家精神インキュベーターマネジメント Co., Ltd. (「Jianxin」と呼ばれる) は、会議に深く参加し、日本の科学技術革新協力における専門能力を実証しました。2015 年の設立以来、jiangxin は「中国と日本の間の中国と日本の間の新しい商業的価値の創出」に焦点を当てており、大きな健康、大きな消費、大きな情報、新しい材料、新しい産業、新しいエネルギー、新しいエネルギーに焦点を当てています。など。イノベーションは、分野のサービスを加速します。この会議で、jiangxin は日本企業からの上級代表団を組織して参加し、専門的な説明を通じて、彼はブースの技術的ハイライトと市場の可能性を深く分析し、協力の機会をつかむための強力な支援を提供しました。jiangxin のプロのチームは、中国と日本のビジネスカルチャーに熟練しており、企業が複雑な市場で自分自身を位置付けるのを支援するために、市場調査、技術相談、協力ドッキングなどのワンストップサービスを提供できます。2024 年の世界人工知能会議で、ジャングキシンは、中国の科学技術交換の分野での専門能力を実証しただけでなく、外国企業が中国市場の詳細な理解を深めるための窓を開設しました。人工知能技術の継続的な開発に伴い、jiangxin は引き続き橋の役割を果たし、科学のおよび技術革新の分野で中国と日本の間の深い協力を促進します。中国のエンタープライズビデオ公式アカウント...

16



[www.zqbao.com.cn](http://www.zqbao.com.cn) > news > 1929.html

jiangxin は第 7 回 CIIE でデビューし、中国と日本の革新的な協力の持続可能な開発を促進する 2024 年 11 月 5 日から 10 日までに開催された第 7 回中国国際輸入博覧会 (以下、「CIIE」と呼ばれる) で、Jiangjixin (上海) 起業家 Incubator Management Co., Ltd. デビ

ュー。インタビューで、Jianxin の創設者兼 CEO である Tanaka は、Jianxin の展示が中国と日本との革新的な協力を促進する最新の成果を包括的に実証し、日本のユニコーン会社と共同で協力していると述べました。中国と日本での生活の中で、中国と日本における科学技術革新の発展を促進します。中国の機会を共有し、国際的な交流と協力を促進する段階として、CIIE は企業に自分自身を示して市場を拡大する機会を提供するだけでなく、グローバル企業に中国の市場と開発の配当を共有するための貴重な機会をもたらします。田中は次のように述べています。「国際協力と経済グローバル化は、世界開発の強力なエンジンです。これに基づいて、CIIE に 2 度目に参加できることを非常に光栄に思っています。今年、私たちは多くの交換と協力の成果を展示することに集中してきました。これは、中国市場への私たちの確固たるコミットメントを反映しており、中国と日本のイノベーション協力のための橋になるという jiangxin の決意を反映しています。画像の説明：Jiangjixin (Shanghai) Antrepreneurship Incubator Management Co., Ltd. の創設者兼 CEO である Tan Zhongnianichi は、「日本の協力モデルを再構築し、Sino-Japanese ビジネスの新しい分野を開放する」ことにコミットしています。2015 年。中国の地元のパートナーの共同創造スペースとさまざまな高品質のリソースは、中国と日本の企業に革新的な加速サービスを提供し、情報交換と友好的な交換を促進します。Jiangxin は、大きな健康、大消化、大きな情報、新しい材料、新しい産業、新しいエネルギーなどの高ポテンシャル分野に焦点を当てており、中国企業や日本企業がこれらの分野で協力するのを支援しています。同時に、jiangxin は、ビジネスガイダンス、市場調査、ビジネスパートナーのドッキング、融資サービスなど、中国と日本の起業家や新興企業に多面的なサポートを提供しています。タナカ・ニアンはさらに、jiangxin が焦点を当てた 2 つの重要な方向性について詳しく説明しました。1 つは「日本には利点があり、中国に需要がある」分野であり、もう 1 つは「中国には利点があり、日本に需要がある」分野です。最初の方向性には、新しい材料などの産業鎖の上流のリンクは日本の有利な地域であり、中国の巨大な市場は、これらの地域で協力するための幅広いスペースを提供します。人口の老化の強化に伴い、高齢者ケアサービス業界も日本で独特の利点を形成しており、中国との将来の協力は巨大です。第 2 方向性には、日本の電気自動車市場が急速に発展しているため、中国は電気自動車技術、産業チェーンなどの豊富な経験を蓄積しており、これらの分野で協力するための大きな余地があります。さらに、中国のデジタル変革と人工知能技術の急速な発展は、日本の労働力不足に効果的に対応し、これらの地域の両者間の相互に有益な協力をさらに促進することができます。CIIE の国際的なプラットフォームを通じて、jiangxin の希望は、科学のおよび技術革新における中国と日本の企業間の協力の促進を加速し、政府機関、投資機関、大企業、起業家企業との関係をさらに深めます。Tanaka Nian は次のように述べています。「CIIE は、Global の「トレーディングパートナー」を「良い友達」に変える機会を Jiangxin に提供し、市場の需要をよりよく理解し、世界に強さとビジョンを示すのに役立ちます。この CIIE では、Jiangxin と彼の長期パートナー TBM Co., Ltd. (以下「TBM」と呼ばれる) が共同で展示されてい

ます。TBMは、新しい材料のリメックスの研究開発、製造、販売に焦点を当てており、世界に環境に優しい持続可能なソリューションを提供することに取り組んでいます。リメックスは、石灰岩（CACO3）の50%以上を含む主要な原材料としての新しい材料と、無機フィラー分散材料です。石油ベースのプラスチックに取って代わるだけでなく、生産プロセス中にほとんど水を使用できないため、石油、水資源、森林などの枯渇した天然資源を効果的に保護できます。TBMは、この展覧会を通じてより多くの中国人および日本のパートナーとのつながりを確立し、中国や世界でさえ持続可能な革新的な技術の広範な適用を促進し、地球の環境の保護に貢献したいと考えています。画像の説明：Jiangjixin (Shanghai) Antrepreneurship Incubator Management Co., Ltd.、Zhu Yunfengの創設者兼CEO（右...  
17



prtimes.jp > main > html > rd > p > 000000024.000146609.html

ジャンシン匠新、第7回中国国際輸入博覧会に出展し - PR TIMES ジャンシン匠新、第7回中国国際輸入博覧会に出展し、持続可能な発展に向けた日中イノベーション協力を推進  
2024年11月5日から10日にかけて開催された第7回中国国際輸入博覧会（以下「輸入博」）において、匠新日本株式会社（以下「ジャンシン匠新」）が再び出展した。ジャンシン匠新の創業者兼CEOである田中年一はインタビューにて、「今回は日中企業間のイノベーション協力を推進する最新の成果を全面に出した。また日本のユニコーン企業である株式会社TBMを招き、日中における各業界のパートナーとの協力機会を共に模索し、日中イノベーションを促進することを目指している」と述べた。田中年一は、ジャンシン匠新が注力する2つの方向性について説明した。「日本が優位性を持ち、中国が需要を持つ分野」と、「中国が優位性を持ち、日本が需要を持つ分野」である。一つ目の方向性では、新材料など川上の産業チェーンにおける日本の強みが挙げられるが、中国の巨大な市場においてこれらの分野における発展を後押しできる。さらに、高齢化問題が進むことに伴い、日本では介護サービスが独自の強みとなっており、今後の中国との協力において大きなポテンシャルを秘めている。二つ目の方向性では、日本の電気自動車市場の急速な発展に伴い、中国が持つ電気自動車の技術や産業チェーンの豊富な経験が重要な役割を果たすことができる。また、中国のデジタルトランスフォーメーションや人工知能技術の急速な発展は、日本における労働力不足の効果的な解決策となり得る。輸入博はグローバル企業にとって自らをアピールし、中国市場の開拓における貴重な機会をもたらしている。輸入博という国際的なプラットフォームを通じて、ジャンシン匠新は日中企業の科学技術イノベーションにおける協力を加速させ、政府機関、投資機構、大企業、スタートアップとの関係をさらに深めることを目指している。田中年一は「輸入博はジャンシン匠新にとって、グローバルな『貿易パートナー』を『友人』に変える機会を提供してくれる。この場を活用して市場ニーズをより良く理解すると同時に、私たちの実力とビジョンを世界に示すことができる」と語った。今回の輸入博では、ジャンシン匠新の長年のパートナーである株式会社TBM（以下「TBM」）

を招待した。TBM は新材料 LIMEX の研究開発、製造、販売に特化しており、環境に優しく持続可能なソリューションを世界に提供することを目指している。LIMEX は主に石灰石を使用した新材料であり、50%以上の石灰石 (CaCO<sub>3</sub>) などの無機物を含む無機充填剤分散系複合材料である。石油樹脂の代替だけでなく、生産過程でほとんど水を使用せず、従来の紙の生産方式に代わる素材として、石油、水資源、森林など枯渇しやすい自然資源を保護することが可能である。TBM は今回の展示会を通じて、さらに多くの日中協力パートナーと関係を築き、持続可能なイノベーション技術を中国および世界に広く普及させ、地球環境保護に貢献することを目指している。すべての画像 - 種類 - イベント - ビジネスカテゴリ - 経営・コンサルティング - ダウンロー...

18

crosscapital.ltd > wp > strength

私たちの強さ - クロスキャピタル匠新 (ジャンシン) 「ジャンシン (匠新)」は 匠新 (ジャンシン) 「ジャンシン (匠新)」はイノベーション・アクセラレーターです。日本および中国の様々なリソースを有機的に組み合わせ、日系ベンチャー企業向け中国事業展開支援、中国ベンチャー企業向け日本事業展開支援、日系大企業向け日中オープンイノベーション支援など、日中間での様々なサービスを提供します。既に多くの日中のベンチャー企業を支援しており、資金調達やパートナー開拓、人材発掘、製造、販売、メディア露出、マーケティング、法務、税務、会計といった幅広い支援サービスをワンストップで提供しています。日系大企業向けには中国に関するイノベーション調査や新規事業のアイデア探索、協業先選定、そして協業の実行までをワンストップで支援します。また日中イノベーションコミュニティの運営も行うことにより、日系大企業と中国スタートアップ企業との日中オープンイノベーション実現の一翼を担います。デザイン / ブランディングパートナー、デザイン・データ・テクノロジーを組み合わせ、従来の枠組みにはまらないビジネスを創出するビジネス・インベンション・ファーム。新しいビジネス機会を創出する最善の顧客体験構築を目指し、企業のパートナーとして、戦略・デザイン・インキュベーションを横断するソリューションを提供している。ニューヨークと東京に拠点を置き、これまで TOYOTA クロスキャピタルとの協業により、LP

19



www.excite.co.jp > news > article > Prtimes\_2024-07-26-146609-2

ジャンシン (匠新) 企業紹介 (2024 年 7 月 26 日) - エキサイト [画像 1: [https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-355848d831115ca33faff9fd2f5b41c6-1748x750.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-355848d831115ca33faff9fd2f5b41c6-1748x750.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)] 「ジャンシン (匠新)」は匠技新 (上海) 創業孵化器管理有限公司およびジャンシ

ン・ジャパン株式会社をグループ企業として抱え、日中間のスタートアップおよびイノベーション連携を推進するアクセラレーターです。日中のリソースを有機的に組み合わせ、日系ベンチャー企業向け中国事業展開支援、中国ベンチャー企業向け日本事業展開支援、日系大企業向け日中オープンイノベーション支援など、日中間での様々なサービスを提供します。なぜ今「オープンイノベーション(OI)」なのか 今の速い市場変化に合わせて開発するには自社のみでの開発ではスピードが追いつかず、また成熟企業とベンチャーは経営資源面やスピード面においてお互いに補完関係にあり、相互連携により Win-Win を実現。 [画像 2:

[https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-f516fd097e7e998ef84029b32080aa2b-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-f516fd097e7e998ef84029b32080aa2b-792x517.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff)

[792x517.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-f516fd097e7e998ef84029b32080aa2b-792x517.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff)]

なぜオープンイノベーションを「日中」でなのか 日中それぞれの強みはオープンイノベーションにおいてさらに相互補完の関係にあり、地理的に近くまた市場も大きく、相互連携により日中イノベーション共創を実現。 [画像 3:

[https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-a66ff1236b8fd4dc6162511097e8ee05-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-a66ff1236b8fd4dc6162511097e8ee05-880x652.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff)

[880x652.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-a66ff1236b8fd4dc6162511097e8ee05-880x652.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff)]

日中イノベーションエコシステムのハブとなり各プレイヤーへ関連サービスを提供 事業会社とベンチャー企業以外にも政府機関や投資機構、学術機関、メディア等とも連携し、日中イノベーションエコシステムを拡充していきます。 [画像 4:

[https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-19430410f3a388b6c69c0467acc71185-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-19430410f3a388b6c69c0467acc71185-1842x869.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff)

[19430410f3a388b6c69c0467acc71185-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-19430410f3a388b6c69c0467acc71185-1842x869.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff)

[1842x869.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-1842x869.png?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff) ] 代 表 紹 介 [ 画 像 5:

[https://prcdn.freetls.fastly.net/release\\_image/146609/2/146609-2-22eb4db8941fa3f9e9c530fcda9b6c79-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-22eb4db8941fa3f9e9c530fcda9b6c79-2000x2491.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff)

[22eb4db8941fa3f9e9c530fcda9b6c79-](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-22eb4db8941fa3f9e9c530fcda9b6c79-2000x2491.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff)

[2000x2491.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff](https://prcdn.freetls.fastly.net/release_image/146609/2/146609-2-2000x2491.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bgcolor=fff)] ・ 2015年に上海で「ジャンシン(匠新)」を立ち上げ、2018年には深センと東京にも拠点を設立 ・ 2013年に独立する以前はデロイトトーマツにおいて12年間M&Aアドバイザー業務やIPO支援業務等に従事 ・ うち2005年から2009年の4年間はデロイトの上海オフィスに駐在、中国企業の日本IPOを含む日中間のプロジェクトに多く関与 ・ デロイトトーマツに入社する以前はHewlett Packard社でシステムエンジニアとして従事し、ITのバックグラウンドも有する ・ 上海に多大なる貢献をしたと評価される外国人に対して表彰される賞「白玉蘭記念賞」の2019年受賞者 ・ 東京大学工学部航空宇宙工学科卒業、米国公認会計士、中国公認会計士科目合格(会計、税務)、中国ファンド従事者資格合格。 ・ 現在日経クロストレンドで中国テックジャイアント「BATH」の記事を連載中。

<https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00327/> 【お問い合わせ】 ジャンシン (匠新)

について興味のある方、ご質問をお持ちの方は、弊社ホームページまでお気軽にお問い合わせ下さい！ 公式 HP： <https://xtech.nikkei.com>

20



[xtech.nikkei.com](https://xtech.nikkei.com) > [atcl](#) > [nxt](#) > [column](#) > 18 > 02999 > 111300002

複数の自動車車体メーカーと提携、人型ロボット実用化を推進 ...全 3848 文字 中国国内で人型ロボット産業が成長し始め、企業数が一定の規模になってきたのが 2023 年。2024 年に入って、政策の手厚い支援、発展に有利な市場環境、サプライチェーンの高い成熟度によって商用化の軌道に乗り始めたとされる。中国で活動する数々の人型ロボット企業を紹介し、そのうち代表格の企業について解説する。この記事は有料会員限定です - 有料会員(月額プラン)は初月無料！ お申し込み - 会員の方はこちら [ログイン](#) 日経クロステック有料会員になると... ・オリジナル有料記事がすべて読める ・専門雑誌 7 誌の記事も読み放題 ・雑誌 PDF を月 100 ページダウンロードできる 日経クロステックからのお薦め「日経ビジネス」「日経クロステック」など日経 BP の専門メディアを集約した法人向け情報ツール「日経 BP Insight」。経営・技術・DX・R&D など事業戦略に必須の情報を横断して閲覧することで、組織全体で経営・技術情報の収集・分析力を高めることができます。日経 BP 総合研究所がお話を承ります。ESG/SDGs 対応から調査、情報開示まで、お気軽にお問い合わせください。ブランド強化、認知度向上、エンゲージメント強化、社内啓蒙、新規事業創出... 各種の戦略・施策立案をご支援します。詳細は下のリンクから...

21



[www.ip-fw.com](http://www.ip-fw.com) > 3848951

【IPF ウェビナー】中国イノベーションの最新動向【セミナー】2024.7.23 開催 | 今回は、IP FORWARD の提携パートナーであるジャンシン（匠新）の CEO 田中 年一氏をお招きし、中国におけるイノベーションの最新動向をテーマに .....

22



[www.zqsw.com](http://www.zqsw.com) > 4072.html

jiangxin の創設者兼 CEO である Tan Naka-ichi : Sino-Dapanes 企業協力には幅広い市場の見通しがあります jiangxin の創設者兼 CEO である Tian Zhongnianyi : Sino-Vanese Enterprise Coperation には、2023-03-15 13:54 著者 : Lai Qiaofa」に掲載されています。近年、新しいエネルギーに陥っており、カーボンニュートラリティフィールドも顕著な結果を達成しています。3月8日、2023年のSino-Dapanese Innovation Enterprise Shanxi Tour Exchange Conference で、Jiangjixin (Shanghai) Antrepreneurship Incubator Management Co., Ltd. (「Jianxin」と呼ばれる) の創設者兼 CEO である Tan Zhongnianichi は、彼は彼が望んでいると述べました。この旅行を経て、上海の現在の産業開発状況を深く理解し、中



国と日本の企業間の革新的な協力の新しい機会を見つけます。 JIANXIN の創設者兼 CEO Tian Zhongnianyi、会議は Shanxi Provincial Investmive Promotion Bureau および China Enterprise Video Central and Western Center of China Enterprise Video によって共同組織され、Jianxin (Shanghai) 起業家インキュベーター管理 Co., Ltd. 「深化」交換と協力は、産業開発をテーマとして促進し、日本の革新的な企業を誠実に招待して、新しいエネルギー、新しいエネルギー車両、新しいエネルギー車両などの主要な産業チェーンの上流と下流に焦点を当て、上海を訪問し、交換、交渉を招待します。材料、および中国の革新的な企業と上海省の主要な産業企業を促進する主要な産業企業は、生産、教育、研究、政府における総合的な3次元交換と協力を実施します。 会議では、上海の文化、産業、経済、貿易について素晴らしいプロモーションを行いました。Shanxi のプロの町。 詳細な調査と交換の後、jiangxin の創設者兼 CEO である Nakaniichi は、中国が現在、日本の伝統的な製造業の発展を伴う新しいエネルギー産業の発展を強く支援していると考えています。この点で、新しいエネルギー分野での新しいサービスがあります。 以前は、上海科学技術委員会の指導の下で、jiangxin は中国と日本のエンタープライズイノベーションフォーラムを首尾よく開催しました。 この会議の共同主催者として、田中正義は、上海で関連イベントを開催する機会があり、新しいエネルギーと炭素中立性の分野で日本企業と中国の革新的な企業との協力をさらに促進する機会があることを望んでいます。 この会議は、上海州政党委員会と州政府の重要な展開を徹底的に実施し、「2023年の州の投資促進行動計画」を誠実に実施するための重要な行動です。偉大なビジネスチャンスと誠実さ 田中は次のように述べています。「この会議を通して、私は、山西州政府と企業からの温かい歓迎と、日本企業との協力の大きな可能性を個人的に経験しました。 2015年の設立以来、jiangxin は、中国の地元のパートナーとさまざまな高品質のパートナーを「中国と日本の協力モデルを再定義し、中国と日本の中に新しい価値を生み出す」という使命と「建物を構築する」という使命とともに、有機的に結びついていることが理解されています。中国と日本の革新的なコミュニティ」。リソースは、中国と日本の中に革新の橋を架け、中国と日本の企業がイノベーションを加速するための幅広いサービスを提供します。 jiangxin は、大規模な健康、大消化、大規模な情報、新しい材料、新しい産業、新しいエネルギーなど、中国と日本の高震源分野に焦点を当てており、中国と日本間の情報交換と友好的な交換を促進し、「大規模な起業家精神と「大規模な起業家」を実現します。中国と日本の革新。 同時に、ガイダンス、状況の導入、潜在的なビジネスパートナーとのドッキング、資金調達、および中国および日本の起業家や新興企業向けのその他のサポートサービスを提供します。 タン・ナカニチは、2023年に、jiangxin が中国と日本のイノベーションエコシステムの資源を完全に動員し、環境保護、健康な高齢者ケア、スマート農業、デジタル経済、その他の分野に焦点を当て、一連の検査と交換活動を実施し、強化する予定であると述べました。日本の企業と地元の中国の都市との交換。 中国エンタープライズビデオパブリック

[www.jetro.go.jp](http://www.jetro.go.jp) > news > releases > 2024 > 12ed846d3e68f6fb.html

伝統工芸品の輸出を支援するプロジェクト「TAKUMI NEXT ...お知らせ・記者発表 伝統工芸品の輸出を支援するプロジェクト「TAKUMI NEXT 2024」採択企業決定 ー海外バイヤー目線で選ばれた 34 都府県 190 社の商品を採択ー 2024 年 08 月 23 日 ジェトロは、日本各地の魅力ある工芸品、伝統工芸品、日用品等の輸出を支援する事業「TAKUMI NEXT 2024」(タクミネクスト 2024) を実施します。今年度は次世代のものづくりを担う「匠」企業として、34 都府県 190 社を採択しました。「TAKUMI NEXT」は、商品の価値・背景となるストーリーに深い理解を持ちつつ、現地市場のライフスタイル、ニーズに合わせたマーケットインの視点で日本の工芸品等を EC などを通じて実際に販売している、米国、カナダ、フランス、スウェーデン、南アフリカ共和国、オーストラリア、香港など 37 社の海外バイヤーと連携しています。2019 年度より開始し、6 回目を迎える TAKUMI NEXT 2024 では、全国 34 都府県から初採択 131 社を含む、190 社の商品が海外バイヤーにより選ばれました。海外バイヤーの目で選ばれた工芸品・伝統産品など「匠」商品を、SNS や海外展示会(スウェーデン Formex、米国 NY NOW など)を予定) などを通じて海外に PR します。採択企業は海外バイヤーとオンライン商談を実施し、具体的な海外での販売に結び付けることも目指します。「TAKUMI NEXT 2024」事業概要 - 1. 対象品目 - メイドインジャパン製品であり、デザイン性の高いもの、工芸品、日用品、文具、家具、アクセサリ、テーブルウェア、食器、カトラリー、キッチン用品、ファッション衣類・小物、その他(プロダクト製品) - 2. 支援内容 -- オンライン商談: 連携海外バイヤーとの商談マッチングをオンラインで実施します。 - 海外向けプロモーション支援: 1,2 万人のフォロワーを抱える TAKUMI NEXT 公式 インスタグラム「Essence of Japan」で海外向けプロモーションを実施するほか、ジェトロが運営する B2B プラットフォーム「Japan Street」やスウェーデン Formex、米 NY NOW などの海外展示会を通じて、海外バイヤーに PR します。 インスタグラム公式アカウント - 3. 採択事業者・団体数 - 190 社・団体 - 4. 都道府県別 (34 都府県) 採択事業者数一覧 -- 岩手県 2 - 山形県 8 - 福島県 1 - 茨城県 1 - 群馬県 6 - 埼玉県 3 - 千葉県 1 - 東京都 18 - 神奈川県 7 - 新潟県 5 - 富山県 2 - 石川県 14 - 福井県 8 - 山梨県 3 - 長野県 1 - 岐阜県 15 - 愛知県 17 - 三重県 6 - 京都府 14 - 大阪府 11 - 兵庫県 1 - 奈良県 7 - 和歌山県 4 - 岡山県 3 - 広島県 2 - 徳島県 2 - 愛媛県 5 - 高知県 1 - 福岡県 5 - 佐賀県 7 - 長崎県 2 - 熊本県 1 - 大分県 3 - 合計 190 - 別紙(参考資料) 「TAKUMI NEXT」について 「TAKUMI NEXT」は、2019 年度から実施。地域資源を活用した高付加価値商材の海外販路拡大を目指し、日本全国から次世代を担う「匠」企業の海外販売を支援するプログラム。ジェトロが連携する海外バイヤー(セレクトショップなど)とのオンライン商談のほか、海外展示会でのプロモーション、インスタグラムでの発信などを通じ、販売、広報での支援を行う。過去の TAKUMI NEXT プログラムを通じて海外展開に成功した事業者へのインタビューはジェトロ活用事例を参照。 - 過去に採択した国内企業数の実績 - -

TAKUMI NEXT 2019 101 社 - TAKUMI NEXT 2020 121 社 - TAKUMI NEXT 2021 155 社 - TAKUMI NEXT 2022 161 社 - TAKUMI NEXT 2023 190 社 - 〒107-6006 東京都港区赤坂 1 丁目 12-32 アーク森ビル 6 階 TEL : 03-3582-5238 E-mail : DNA-project@jetro.go.j...

24



[www.zqsw.com](http://www.zqsw.com) > 14901.html

jiangxin は、中国と日本のイノベーションリソースとの関係を加速するために、Pudong の「グローバルな才能を引き付けるパートナー」に選ばれました jiangxin は、Pudong の「グローバルな才能を引き付けるパートナー」に選ばれ、中国と日本のイノベーションリソースの関係を加速します。 Antrepreneurship Incubator Management Co., Ltd. (「Jianxin」と呼ばれる) は、その設立以来、中国と日本の長年にわたって蓄積された中国の協力と革新を促進することに取り組んできました。 Pudong New Areas の「Global Talent Attraction Partner」のタイトル、地域の科学的技術的才能の戦略的發展になりつつある重要な力は、才能と革新的な開発の導入において高度に認識されています。 グローバルタレントアトラクションパートナープログラム (GTP) は、高レベルのグローバルな才能を募集するために、Pudong 地区によって開始されたインセンティブポリシーです。「才能を引き付け、機関で才能を推奨することによって導かれ、世界中からより高レベルの革新的で起業家の才能を募集し、家庭内および海外での才能の最初の選択と最初の停留所にプードンを建設することを約束します。 GTP プロフェッショナル組織 Echelon のメンバーとして、Jiangxin は Pudong の多次元ドッキングプラットフォームを構築し、グローバルな高級才能、革新的な技術、リスク資本をつなぎ、Pudong の国際的な才能主導の地域と産業クラスターの建設を提供します。そして、世界における Pudong のグローバルな革新を促進する領土の地位は改善されました。 2015 年の設立以来、jiangxin は、中国と日本の間に橋を架け、「中国と日本の協力モデルを再定義し、中国と日本の間に新しい商業的価値を創出する」という使命で中国と日本の革新を加速するためのプラットフォームになることに取り組んできました。」。 中国の地元のパートナーの共同創造スペースとさまざまな高品質のリソースに依存して、jiangxin は、中国と日本の補完分野の両国の企業に革新的な加速サービスを提供し、大きな健康、大きな消費、大きな情報、新しい資料に焦点を当てています、新しい産業、新しいエネルギーなど。高い潜在分野。同時に、Jiangxin は、ガイダンス、状況の導入、潜在的なビジネスパートナーとのドッキング、融資、中国および日本の起業家や新興企業向けの資金調達など、さまざまなサポートサービスも提供しています。 この「グローバルタレントアトラクションパートナー」のタイトルの機会により、jiangxin はグローバルな科学技術の才能とイノベーションプロジェクトとの協力をさらに深め、上海プードンに堅実なサポートを提供し、国際的な一流の科学技術革新ハイランドと才能の集まりを構築する中心。中国エンタープライズビデオパブリック...

25

[www.jetro.go.jp](http://www.jetro.go.jp) > services > takumi\_next

TAKUMI NEXT 2024 クールジャパン海外需要開拓プログラム事業概要；「日本らしさ」「匠の技」など、日本の各地域の技術や生活文化の特色を生かした魅力ある商材を生産・販売し、海外への販売を希望する中小企業・小規模企業者。 ※ .....

26



[www.wantedly.com](http://www.wantedly.com) > companies > takumi > about

タクミのイノベーターの事業とカルチャー - 望んでいます今後さらなるグローバル展開、グローバル市場へ中国発の技術を導入していく多大な余地があります。日本においても、日本が誇る技術力の高さを背景に、ハードテクノロジー .....

27



[www.takumi.ltd](http://www.takumi.ltd) > webinar-221028

中国スタートアップ企業といかに連携するか？～中国リスクを踏まえた実務家による解説～ ...2. 中国における日系企業のイノベーションおよび新規事業への取り組み状況(ジャンシン(匠新) 創業者・CEO 田中年一) ....

28

[m.qizhidao.com](http://m.qizhidao.com) > qiye > risk > 705a333c5bfdb5354f7a0f9809f730a4.html

Jiangxin Zhilian (Beijing) Technology Co., Ltd. -Business Risks-Qizhi 除去の理由：3年以内に異常なビジネスのリストに含まれ、「第9条の第9条に従って異常なビジネスの管理に関する規制に関する」第9条の第9条に従って異常なビジネスのリストに含まれていません。法律に従って異常な事業の管理に関する規制に関する規制、居住地または事業施設の変更の登録を申請した後、彼らは除去、ログイン、および存在するものとする91110113MA0205NU40、削除、2024-06-26は、異常な事業運営のリストから削除されました。異常な事業運営のリスト」は、サイトが変更された後、法律に従って居住地またはビジネスを処理し、削除を申請し、決定を下すものとします。2024-06-03の異常な事業運営の包含の理由：登録居住地または事業施設に連絡することはできません。 - 誓約された株式の数、誓約取引の市場価値 - 誓約取引の数 - 無制限の株式数の誓約 - 販売株式の限られた数の誓約、-過去の上昇と下落の投資年、---産業、---レポート電話番号：4008-000-159、レポートメール：jubao@qizhidao.com、©2023 Qizhi Technology Co., Ltd.

29



[www.zqsw.com](http://www.zqsw.com) > 14901.html

jiangxin は、中国と日本のイノベーションリソースとの関係を加速するために、Pudong の「グローバルな才能を引き付けるパートナー」に選ばれました jiangxin は、Pudong の「グローバルな才能を引き付けるパートナー」に選ばれ、中国と日本のイノベーションリソースの関係を加速します。 Antrepreneurship Incubator Management Co., Ltd. (「Jianxin」と呼ばれる) は、その設立以来、中国と日本の長年にわたって蓄積された中国の協力と革新を促進することに取り組んできました。 Pudong New Areas の「Global Talent Attraction Partner」のタイトル、地域の科学的技術的才能の戦略的発展になりつつある重要な力は、才能と革新的な開発の導入において高度に認識されています。 グローバルタレントアトラクションパートナープログラム (GTP) は、高レベルのグローバルな才能を募集するために、Pudong 地区によって開始されたインセンティブポリシーです。「才能を引き付け、機関で才能を推奨することによって導かれ、世界中からより高レベルの革新的で起業家の才能を募集し、家庭内および海外での才能の最初の選択と最初の停留所にブードンを建設することを約束します。 GTP プロフェッショナル組織 Echelon のメンバーとして、Jiangxin は Pudong の多次元ドッキングプラットフォームを構築し、グローバルな高級才能、革新的な技術、リスク資本をつなぎ、Pudong の国際的な才能主導の地域と産業クラスターの建設を提供します。そして、世界における Pudong のグローバルな革新を促進する領土の地位は改善されました。 2015 年の設立以来、jiangxin は、中国と日本の間に橋を架け、「中国と日本の協力モデルを再定義し、中国と日本の間に新しい商業的価値を創出する」という使命で中国と日本の革新を加速するためのプラットフォームになることに取り組んできました。」。 中国の地元のパートナーの共同創造スペースとさまざまな高品質のリソースに依存して、jiangxin は、中国と日本の補完分野の両国の企業に革新的な加速サービスを提供し、大きな健康、大きな消費、大きな情報、新しい資料に焦点を当てています、新しい産業、新しいエネルギーなど。高い潜在分野。 同時に、Jiangxin は、ガイダンス、状況の導入、潜在的なビジネスパートナーとのドッキング、融資、中国および日本の起業家や新興企業向けの資金調達など、さまざまなサポートサービスも提供しています。 この「グローバルタレントアトラクションパートナー」のタイトルの機会により、jiangxin はグローバルな科学技術の才能とイノベーションプロジェクトとの協力をさらに深め、上海ブードンに堅実なサポートを提供し、国際的な一流の科学技術革新ハイランドと才能の集まりを構築する中心。中国エンタープライズビデオパブリック...

30



mt.sohu.com > a > 845854269\_122004016

jiangxin は新興企業を支援し、中国と日本の市場で新しい章を開きます-Sohu 最近、「Shanghai Lanbai Service Enterprise Direct Train および Lanbai 自己作成ゾーンと Lanbai Experimental Zone 包括的な特別セッション」イベントで、中国のエンタープライズビデオがエキサイティングなニュースを示しました。 Jiangjixin (Shanghai) Antrepreneurship

Incubator Management Co., Ltd. (以下、「Jiangxin」と呼ばれる) は、ユニークな視点と深遠なリソースを備えた中国市場への扉を開きました。2015年の設立以来、jiangxin は、日本人企業協力モデルを再構築し、新しいビジネスチャンスを生み出すことに取り組んできました。現在、それは、大きな健康、大きな消費、大規模な情報、新しい材料、新しい産業、新しいエネルギーなどの高ポテンシャル分野に焦点を当てており、中国と日本の間に革新的な協力の堅実な橋渡しを確立しています。これはビジネス交換だけでなく、文化と知恵の融合でもあります。イベントでは、jiangxin の副社長である Liu Yiing が、同社のコアビジネスおよび開発の概念を深く分析しました。彼女は、急速に変化する市場環境では、1つの会社の力だけに依存することは少し伸びているように見えると強調しました。成熟した企業やスタートアップの補完的なリソース、特にイノベーションのコラボレーションは、困難を突破するための鍵となります。jiangxin は、ビジネスコンサルティング、市場調査、ビジネスパートナーのドッキング、融資サービスなど、ワンストップサポートを提供することにより、新興企業が言語と文化の障害に効果的に対処するのに役立ち、中国と日本の間の共通の開発を促進しました。Liu Yiing はまた、いくつかの成功したケースを共有しました。たとえば、jiangxin は、新エネルギーの大型トラックのリスク管理実験を実施する際に、中国の中国を支援しました。ビッグデータ分析を通じて、jiangxin と Adastria の間の協力は、企業がファッションの傾向をより正確に把握し、テクノロジーとビジネスを組み合わせることの無限の可能性を示すのに役立ちます。将来に目を向けると、ヤングキシンの希望は、より多くの高品質の企業を引き付けて、中国と日中のオープンイノベーションネットワークに参加し、協力してより広範なビジネスと技術の見通しを探求し、将来の課題を勇敢に満たします。これは、企業のビジョンだけでなく、テクノロジーと経済の織物の下での革新の波でもあります！ もっと見るためにソーフに戻る...

31

AW

[www.asiawise.legal](http://www.asiawise.legal) > blog > 2022-10-28-aw-legal-consultation-cic

【ウェブセミナーご案内】2022/10/28 ウェブセミナー「AW legal ...2022年10月28日(金)に、ジャンシン(匠新)、CIC Japan 合同会社、AsiaWise Group は、ウェブセミナー「AW legal consultation @CIC vol.7『中国スタートアップ企業といかに連携するか? ~中国リスクを踏まえた実務家による解説』」を共催いたします。中国で事業活動を行っている日本企業は、変動する中国国内外の情勢によってもたされた様々なリスクに直面しています。本セミナーでは、経済安全保障関連の動向やデータ安全関連法令規制によるリスクを踏まえつつ、日本企業の中国スタートアップとの協働の実務について最新動向をお伝えいたします。なお、法律事務所の関係者に関しては、ご登録をお断りさせていただく場合がございますので、ご了承ください。【詳細】 - テーマ：中国スタートアップ企業といかに連携するか? ~中国リスクを踏まえた実務家による解説 - 開催日：2022年10月28日(金) - 時間：17:00 - 18:10 (日本時間) - 参加費：無料 - 場所：オンラインもしくは現地・CIC

Tokyo (虎ノ門ヒルズビジネスタワー15階) - 申込: 下記告知サイトよりお申込みください (参加方法により申込サイトが異なります) - 申込期限: 2022年10月27日(木) 18:00 (日本時間) ※申込期限前のメールでのお申し込みはご遠慮ください ※法律事務所の関係者に関しては、ご登録をお断りさせていただく場合がございますので、ご了承ください

【視聴方法】 - 環境設定: Zoom アプリをDL いただくか、web でご視聴ください - チケットを申し込んでいただくと、「【Peatix】AW legal consultation @CIC vol.7『中国スタートアップ企業といかに連携するか? ~中国リスクを踏まえた実務家による解説』のチケットお申し込み詳細」というメールが届きます。本文中の「イベント視聴ページに移動」をクリックしてください - 表示されたページの「主催者からのお知らせ」をご参照の上、「イベントに参加」ボタンをクリックしてください

【概要】 - はじめに (久保) - 中国における日系企業のイノベーションおよび新規事業への取り組み状況 (田中氏) - 中国における新規事業・サービス開発の取組について (竹内氏) - 中国経済安全保障関連の法令の最新動向と留意点 (張) - 中国データ法関連法令の最新動向と留意点 (江) - 質疑応答 (全員) - 終わりに (CIC Japan 合同会社)

【ゲストスピーカー】 - 竹内浩気/三井住友海上火災保険株式会社・ビジネスデザイン部 (GDH 上海リード) - 田中年一/ジャンシン(匠新)・創業者 CEO

【スピーカー】 - 久保光太郎 (日本法弁護士)/AsiaWise 法律事務所・代表パートナー弁護士 - 江広嘉/AsiaWise 法律事務所・アソシエイト - 張楚然/AsiaWise 法律事務所・アソシエイト

ご興味がありましたら、是非お申込みください...

32



[www.sohu.com](http://www.sohu.com) > a > 845833904\_120765287

Jiangxin は「Shanghai Lanbai Express」をデビューさせて、スタートアップが中国市場を探索できるように力を与えます-Sohu 最近、「Shanghai Lanbai Service Enterprise Direct Train と Lanbai の自己作成ゾーンと Lanbai の実験ゾーン包括的な特別セッション」イベントが成功裏に開催され、Gansu と Shanghai の間のプロジェクトの協力と建設を深め、高レベルの科学を構築することを目指しています。技術協力イノベーションシステム、および科学技術協力の高品質の開発を促進します。中国と日本の企業のオープンイノベーションに焦点を当てた加速プラットフォームとして、Jiangjixin (上海) 起業家インキュベーターマネジメント Co., Ltd. (以下、「Jianxin」と呼ばれる) はイベントでデビューし、イノベーションエコシステムの構築におけるその中心的な利点を実証しました。急速に変化する市場で企業が機会をつかみ、双方にとって有利な成長を達成するのを支援します。イベントでは、jiangxin の副局長である Liu Yiing が、Jiangxin のコアビジネスおよび開発の概念を詳細に紹介しました。2015年の設立以来、ヤングキシンは「中国の協力モデルを再構築し、中国の地元の高品質のリソースと共同創造スペースを統合することにより、橋を渡ることに取り組んできました。中国と日本の企業のための革新的な協力の。近年、jiangxin は、大きな健康、大きな消費、大規模な情報、新しい材料、新しい産業、新しいエネルギーなどの高

ポテンシャル分野に焦点を当てており、中国と日本の企業がこれらの分野で協力するのを支援しています。同時に、Jiangxin は、ビジネスガイダンス、市場調査、ビジネスパートナーのドッキング、資金調達サービスなど、中国および日本の起業家や新興企業に多面的なサポートを提供し、言語と文化の違いの問題を解決する日本のイノベーションエコシステムを作成します。そして、両者間の協力の促進を促進しました。Liu Yiing は、急速に変化する市場環境では、単一の企業の R&D 能力が複雑な市場の需要を満たすことができなくなったと述べました。運用リソースとスピードの観点から成熟した企業とスタートアップの補完的な利点は、オープンイノベーションを時代の選択にします。jiangxin は市場の需要に基づいており、特に新しいエネルギーや大きな健康などの最先端の分野で、創造的なイノベーションからマーケティングプロモーションまでワンストップサービスを提供し、企業に柔軟で効率的なサポートシステムを提供します。さらに、Liu Yiing は、職人によって促進された Sino-Panapanese 協力のいくつかの成功した事例を共有しました。Rujiangxin は、中国の中国 Sumitomo Maritime China を支援して、新しいエネルギー車両の安全性と経済性を検証しただけでなく、保険商品とサービスの研究開発と最適化に対する強力なサポートを提供した新しいエネルギートラックのリスク管理実験を実施するために支援しました。さらに、jiangxin はまた、Adastria と中国の Zhiyi 技術の協力を促進し、企業がビッグデータ分析ツールを通じてファッションのトレンドをよりよく把握するのに役立ちました。先を見据えて、jiangxin は開かれた協力の精神を維持し続け、ガンスと上海、さらにはより広い地域でさらにその影響を拡大します。Jiangxin は、継続的な努力を通じて、より高品質の企業が中国と日本のオープンイノベーションネットワークに参加し、より多くの可能性を共同で探求し、将来の課題を満たすことができることを望んでいます...

33



[cn.takumi.ltd](http://cn.takumi.ltd) > [webinar-221028](#)

如何与中国初创公司合作？ -匠新タクミのイノベーター当下、在中国开展业务的日本企业由于形势变化正面临着各种各样的风险。基于经济安全保障相关的动向、信息安全相关法律法规带来的风险、匠新携手 cic Japan、asiawise .....

34



[www.zqsw.com](http://www.zqsw.com) > [14780.html](#)

jiangxin は「上海ランバイエクスプレス」をデビューさせて、スタートアップが中国市場を探索できるように力を与えます Jiangxin は「Shanghai・Lanbai Express」でデビューし、スタートアップが中国市場の開発を強化するためにデビューしました。Cheji Lanbai 自己作成ゾーンと Lanbai 実験ゾーンの包括的な特別なイベントが成功裏に開催され、Gansu と上海の間のプロジェクトの協力と建設を深め、高レベルの科学のおよび技術協力イノベーションシステムを構築し、質の高い開発を促進することを目指しています。科学のおよび技術



的協力の。中国と日本の企業のオープンイノベーションに焦点を当てた加速プラットフォームとして、Jiangjixin (上海) 起業家インキュベーターマネジメント Co., Ltd. (以下、「Jianxin」と呼ばれる) はイベントでデビューし、イノベーションエコシステムの構築におけるその中心的な利点を実証しました。急速に変化する市場で企業が機会をつかみ、双方にとって有利な成長を達成するのを支援します。イベントでは、jiangxin の副局長である Liu Yiing が、Jiangxin のコアビジネスおよび開発の概念を詳細に紹介しました。2015年の設立以来、ヤングキシンは「中国の協力モデルを再構築し、中国の地元の高品質のリソースと共同創造スペースを統合することにより、橋を渡ることに取り組んできました。中国と日本の企業のための革新的な協力の。近年、jiangxin は、大きな健康、大きな消費、大規模な情報、新しい材料、新しい産業、新しいエネルギーなどの高ポテンシャル分野に焦点を当てており、中国と日本の企業がこれらの分野で協力するのを支援しています。同時に、Jiangxin は、ビジネスガイダンス、市場調査、ビジネスパートナーのドッキング、資金調達サービスなど、中国および日本の起業家や新興企業に多面的なサポートを提供し、言語と文化の違いの問題を解決する日本のイノベーションエコシステムを作成します。そして、両者間の協力の促進を促進しました。Liu Yiing は、急速に変化する市場環境では、単一の企業の R&D 能力が複雑な市場の需要を満たすことができなくなったと述べました。運用リソースとスピードの観点から成熟した企業とスタートアップの補完的な利点は、オープンイノベーションを時代の選択にします。jiangxin は市場の需要に基づいており、特に新しいエネルギーや大きな健康などの最先端の分野で、創造的なインキュベーションからマーケティングプロモーションまでワンストップサービスを提供し、企業に柔軟で効率的なサポートシステムを提供します。さらに、Liu Yiing は、職人によって促進された Sino-Panapanese 協力のいくつかの成功した事例を共有しました。Rujiangxin は、中国の中国 Sumitomo Maritime China を支援して、新しいエネルギー車両の安全性と経済性を検証しただけでなく、保険商品とサービスの研究開発と最適化に対する強力なサポートを提供した新しいエネルギートラックのリスク管理実験を実施するために支援しました。さらに、jiangxin はまた、Adastria と中国の Zhiyi 技術の協力を促進し、企業がビッグデータ分析ツールを通じてファッションのトレンドをよりよく把握するのに役立ちました。先を見据えて、jiangxin は開かれた協力の精神を維持し続け、ガンスと上海、さらにはより広い地域でさらにその影響を拡大します。Jiangxin は、継続的な努力を通じて、より質の高い企業を引き付けて、中国と日中のオープンイノベーションネットワークに参加し、より多くの可能性を共同で探求し、将来の課題に対処できることを望んでいます。中国のエンタープライズビデオ公式アカウント...

35

**TB**

[techblitz.com > report > chinese-innovation-202401-by-takumi-innovators](https://techblitz.com/report/chinese-innovation-202401-by-takumi-innovators)

【2024年最新レポート】中国イノベーションの最新動向と日...読者により幅広い情報をお届けすべくスタートしたパートナーレポート企画。今回は、日中でのイノベーション共創を

推進するアクセラレーター「ジャンシン（匠新）」が作成した「中国イノベーションの最新動向と日中オープンイノベーション取り組み事例」のレポートをお届けします。 ※レポート本誌は、2024年1月に「BLITZ Portal」ご利用企業向けに発刊しております。ジャンシン(匠新)とは Image: ジャンシン（匠新）HP 2015年に上海で立ち上げられた、日系事業会社向けに日中オープンイノベーション共創を推進するアクセラレーターです。設立以来、業界ごとのイノベーション状況解説や現地スタートアップを招いたハッカソン、ピッチイベントなど数多くのサービスを通じて大企業とスタートアップのイノベーション実現を促進しています。 2024年1月時点の中国イノベーション動向は？ 「中国イノベーションの最新動向と日中オープンイノベーション取り組み事例」レポートでは、以下の内容をレポートとしてまとめています。 - 中国ユニコーン企業及びスタートアップ投資から見る新興分野での中国注目領域 - 中国スタートアップ投資及び産業の都市別特徴 - 日系企業の各都市における R&D の取り組み例 - 中国企業・中国ブランドの海外進出トレンドと日系企業にとっての共創機会 - 日中オープンイノベーション取り組み事例 - 参考: 欧米企業の取り組み事例 中国ユニコーン企業およびスタートアップ投資から見る新興分野での中国注目領域 中国スタートアップの各業界毎における投資件数比率推移 中国における投資の関心領域は年々変化しており、直近ではコロナ前後の2020年以降で新たな変化も発生しております。 過去10年の業界別投資内訳の推移を見ると、コロナ前の2019年までは「企業向けサービス」が常に1位で、続いて「電子商取引」「先進製造」「医療健康」が続いていましたが、2018年に初めて「先進製造」が「企業向けサービス」を追い越して1位へと成長しました。これは米中貿易摩擦の影響もあって中国における製造業の国産化の流れが加速したことが主な要因の1つとなります。2020年には「医療健康」も「企業向けサービス」を追い越して2位へと成長しました。これは、コロナの流行による医療関連用品や感染症対策ソリューションに対する需要の増加、また加速し始めた少子高齢化問題による高齢者産業の成長への期待値の高まりが背景にあります。2018年あたりまでは各業界それぞれに投資が分散しましたが、2019年以降は投資領域が一部に集中する傾向が見られるようになり、直近では「先進製造」「医療健康」「企業向けサービス」の3業界への投資件数が全体のおよそ6~7割を占めました。 日中オープンイノベーション取り組み事例 トヨタ × 小馬智行 (Pony.ai) 中国自動運転開発スタートアップの小馬智行 (Pony.ai) とトヨタ中国は2023年8月4日、合弁を設立すると発表しました。新会社がトヨタブランドのBEVをPony.aiに提供し、Pony.aiの自動運転システムを搭載しました。自動運転タクシーを量産化と同時にしていく方針となっています。合弁を設立するのは、Pony.ai とトヨタ自動車(中国)投資有限公司(TMCI)、广汽トヨタ自動車(GTMC)の3社で、小馬が完成させたRobotaxiの運営プラットフォームを通じて、乗客に自動運転モビリティのサービスを提供します。本レポートをご希望される方は、「レポートを入手する」よりお気軽にお問い合わせください。 ※今回お問い合わせいただいた内容は、イシングループのプライバシーポリシーに基づき、ジャンシン(匠新)と共有いたします。お問い合わせ

わせ内容はイシングループ、ジャンシン(匠新)其々の責任において管理され、問い合わせ内容やサービスについて個別にご案内をさせていただく場合がございます...

36

**TB**

[techblitz.com](http://techblitz.com) > [report](#) > [china-overseas-expansion-by-takumi-innovators](#)

中国イノベーション企業 海外進出の最新動向 - TECHBLITZ 読者により幅広い情報をお届けすべくスタートしたパートナーレポート企画。今回は日中でのスタートアップおよびイノベーション共創を推進するアクセラレーターである「ジャンシン (匠新)」による、「中国イノベーション企業海外進出の最新動向」のレポートを提供します。このレポートからわかること ●中国ユニコーン企業およびスタートアップ投資の動向から見る中国注目領域 ●中国ブランド海外進出及び海外進出サービスベンダーの概況 ●分野別トレンド (ゲーム、動画サービス、EC、コンシューマー向け電子機器、企業向け SaaS) ●日本進出の事例紹介 ジャンシン(匠新)とは Image: ジャンシン (匠新) HP 2015年に上海で立ち上げられたジャンシン(匠新)は日中間でのスタートアップやイノベーションの相互連携を推進しているアクセラレーターです。設立以来、業界ごとのイノベーション状況解説や現地スタートアッ